

TOTO

KITCHEN

組立・設置説明書

システムキッチン

キュージアシリーズ

-
- 本書を必ずお読みのうえ、正しく取り付けてください。
 - 取扱説明書・保証書は必ずお客様にお渡しください。
-

1.必ずお守りください	1
2.取付前の確認	3
3.キッチンパネルの取り付け	7
4.ウォール部の取り付け	8
5.天井フィラーの取り付け	11
6.フロアキャビネットの取り付け	13
7.キッチンカウンターの取り付け	21
8.排水金具の取り付け	23
9.エンドパネルの取り付け	24
10.扉と引き出しの取り付けと調整	25
11.調理機器の取り付け	31
12.安心ロックの注意点	31
13.水栓の取り付け	31
14.照明の取り付け	31
15.周辺商品の取り付け	32
16.オプションの取り付け	32
17.コーキング処理	32
18.清掃・検査・養生	33

1 必ずお守りください

取付前に、この安全上の注意をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

この説明書ではシステムキッチンを安全に正しく取り付けていただき、使用者や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、次のような表示をしています。

表示	意味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例	絵表示の意味
	この記号は、してはいけない「禁止」内容です。
	この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

- 取付完了後、試運転および各部の点検を行い異常のないことを確かめてください。
- 本体に付属の取扱説明書はお客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れが生じないように、各種取扱説明書は必ずシンクキャビネット内にまとめてお引渡してください。

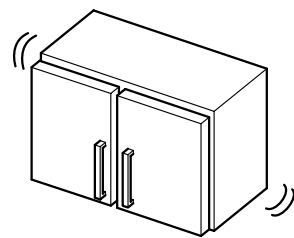
警告

ウォールキャビネットは、建築壁の構造を確かめて確実に取り付ける

取り付けを誤ると、使用中に取付ねじがゆるみウォールキャビネットが落下して、けがをするおそれがあります。

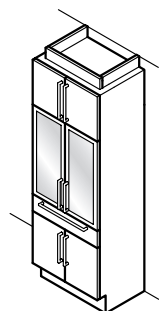
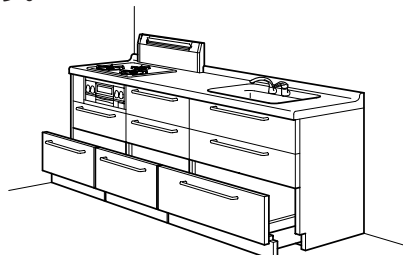
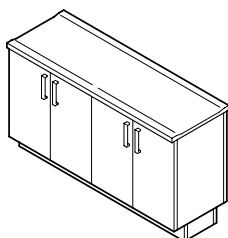
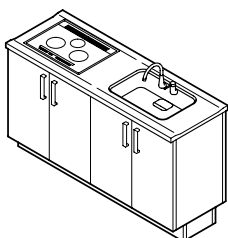
※下地材は木さん（90mm×30mm）を使用してください。合板を使用する場合は必ず厚みが12mm以上のJAS規格品を使用してください。

※電動昇降ウォールの場合は必ず木さん（90mm×30mm）を使用してください。



フロアキャビネットは必ず壁面に固定する 対面レイアウト（両面フロアキャビネットなど）は必ず床固定する トールキャビネット（収納ユニット）は必ず壁面に固定する

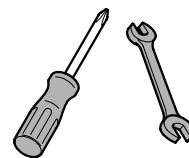
キャビネットが転倒してけがをするおそれがあります。



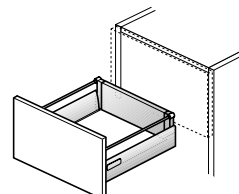
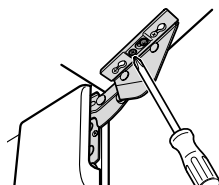
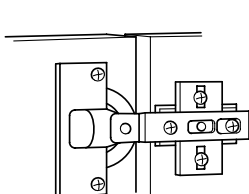
⚠ 警告

水道・ガス・電気工事は、関連する法令・規定に従って必ず「有資格・指定業者」が行う

火災・感電・水漏れ・ガス漏れの原因となります。



取付完了後は、扉や引き出しの傾き・がたつき・丁番のゆるみがないことを必ず確認する
扉の取り付けに異常があると、使用中に落下してけがをするおそれがあります。



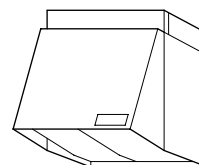
ステンレスカウンターやシンクなどの金属製品を取り扱うときは、必ず保護手袋をする

切断面に触れるとけがをするおそれがあります。



キッチンに組み込まれている水栓・調理機器・フード・その他機器については、それぞれの商品の組立・設置説明書・本体の注意表示を必ず確認し、正しい取り付けを行う

取り付けを誤ると、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。



取り付け・仕上げに使われる溶剤・接着剤・洗剤・その他薬品類については、容器などに記載の注意表示に従って正しく使用する

誤った使い方をすると、人体に影響が出たりキッチン部材の損傷や劣化の原因になります。



丁番やレールの位置をずらす改造をしない

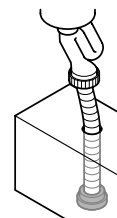
扉や引き出しが落下し、けがをするおそれがあります。

⚠ 注意



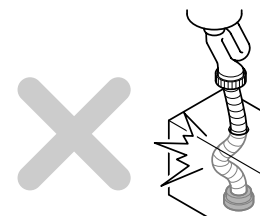
排水管の接続部は、組立・設置説明書に従って必ず接続する

接続部にすき間があると、不快な臭いやカビの発生および水漏れの原因になるおそれがあります。



ジャバラの排水管（付属品）で接続する場合は、U字型に曲げたり、折り曲げて取り付けない

排水能力が低下してシンクから水があふれ、床を汚すおそれがあります。



2 取付前の確認

1. 下準備と確認

※別紙施工図を基に木さん・給排水位置および電源・コンセント位置を確認してください。

施工図面を基に、次の事項をしっかりと確認してください。

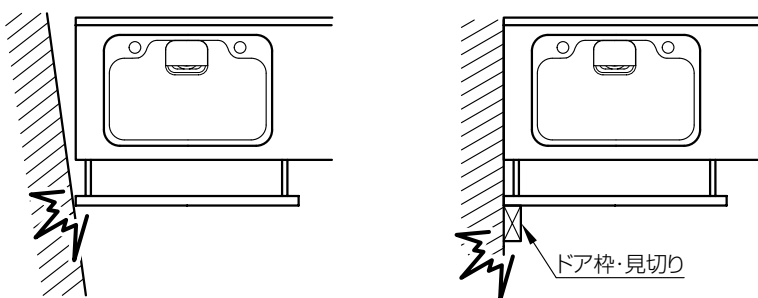
確認によって補充工事が必要なときは、キッチンの取り付けに入る前に工事を依頼してください。

※対面（フラット・ハイ対面）タイプの場合は専用の組立・設置説明書をあわせてご覧ください。

【取付部の確認と注意点】

キッチンクロゼットタイプのシンクキャビネットなどの引き出し式キャビネットやはね上げ式の扉付きキャビネット・食器洗い乾燥機の場合、ドア枠などの突起物に引き出しや扉が干渉しないことを確認してください。

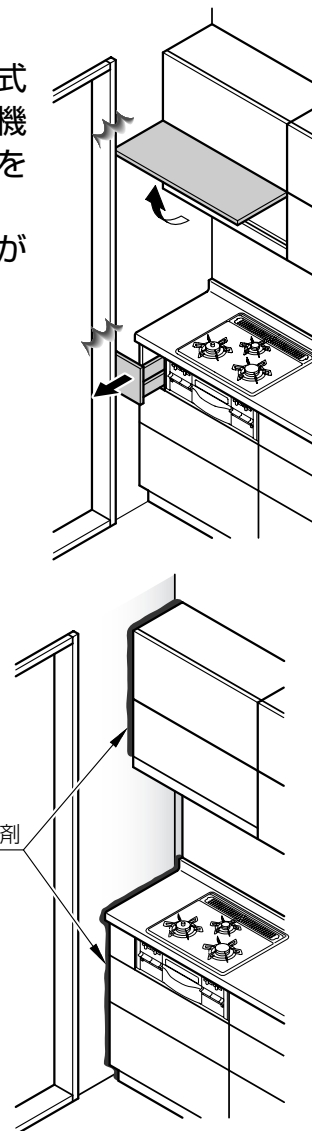
また、側面に接する壁の直角が出ていない場合に引き出しや扉が壁面に干渉することがありますので注意してください。



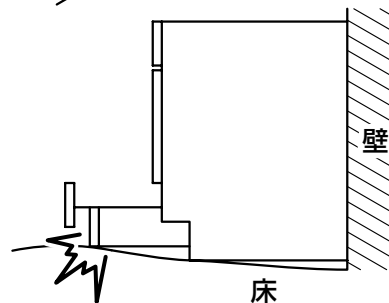
干渉する場合は、壁から離して取り付けてください。

この場合、すき間にはシリコンシーラントを充填してください。

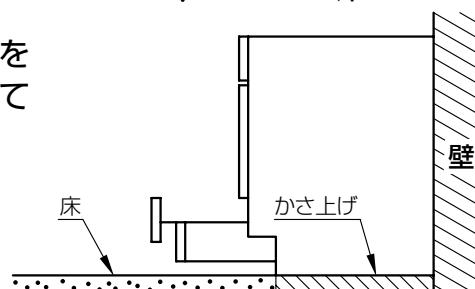
シリコンシーラント



キッチンクロゼット（引き出し）が床に近い位置にあるため、キッチンクロゼットタイプのキャビネットを取り付ける際は床の不陸に十分注意してください。この時キッチンクロゼットをいっぱい引き出して確認してください。



キッチンクロゼットタイプのキャビネット取付後に床仕上げを行う場合、床材の厚み分キャビネットをかさ上げして設置してください。



1. 下準備と確認 (続き)

※別紙施工図を基に木さん・給排水位置および電源・コンセント位置を確認してください。

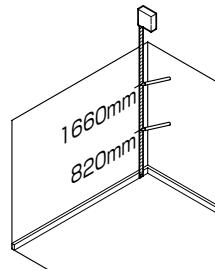
床・壁面・天井の直角と水平・垂直を確認してください。

- 水平・垂直基準の精度が出ていないと、最終仕上がりが悪くなり安全性にも影響します。正確に基準線を設定してください。

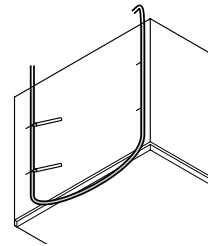
① 水平基準線の設定

水盛り管・水準器などを用いて、各壁面にウォールキャビネットの下端面、フロアキャビネットの上面の基準点を2～3カ所取り、各基準点間に墨壺を用いて水平基準線を引いてください。

※床の一番高い所を基準としてください。



レイアウト図を参考に床面からキャビネットの下端の基準寸法を出す。

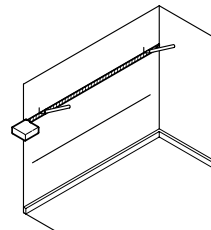


水盛り管・水準器を用いて基準点を出す。

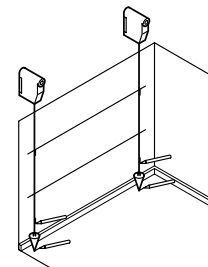
※上記基準寸法はカウンター高さ860およびミドルウォールの場合。

② 垂直基準線の設定

下げ振りをを用いて壁面の角部と、取り付けキャビネット左右端の上下に基準点を取り、基準点間に墨壺を用いて水平基準線を引いてください。

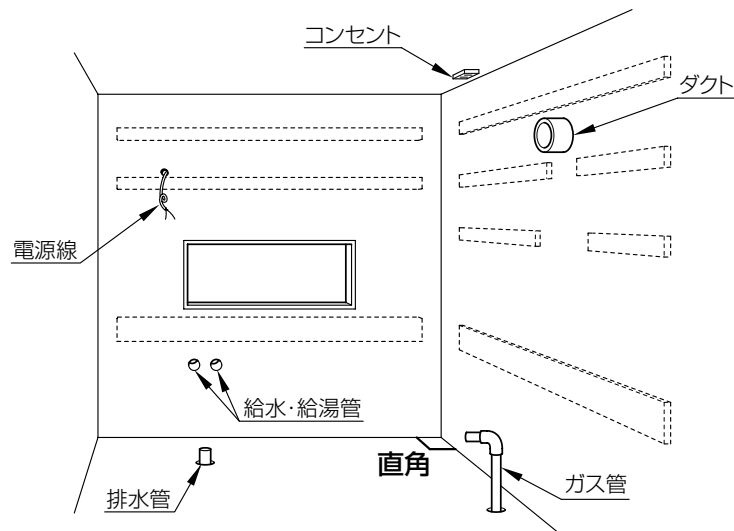


レイアウト図を参考に角部からキャビネットの左右の基準寸法を出す。



下げ振りをを用いて壁・床面への基準点を出す。

- 施工図通りに下地・木さん・給水／排水管・コンセント・電源線・ダクトなどがあるか確認してください。

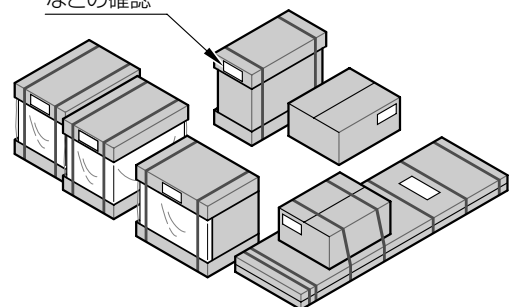


- 調理機器・レンジフード・レンジフード用ダクトは取付面の不燃指定や不燃物との離隔距離が火災予防条例で定められています。

※詳しくは所轄の消防署での確認となります。

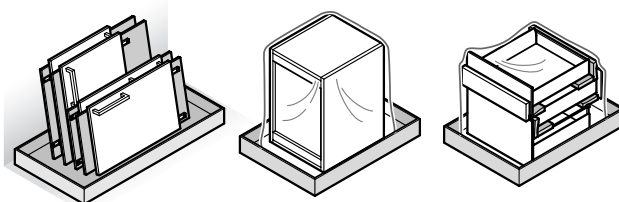
- 荷受した商品は送り状を元に品番・数量をチェックしてください。
- 開封前は包装材など外観に破損がないか確認してください。
- 開封後は商品に傷・破損がないか確認してください。

商品名・機種などの確認

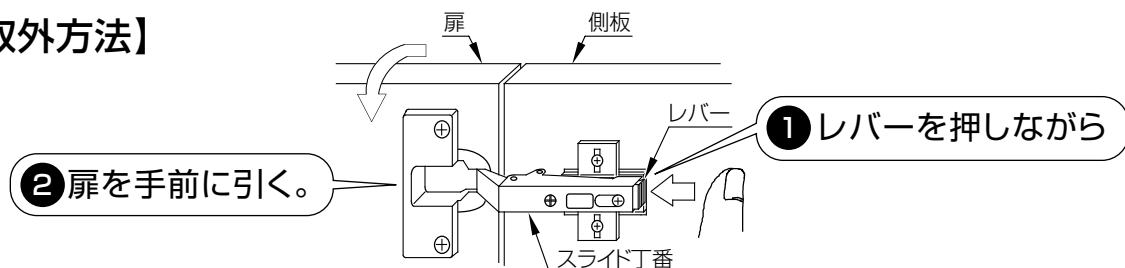


2.扉・引き出しの取り外し

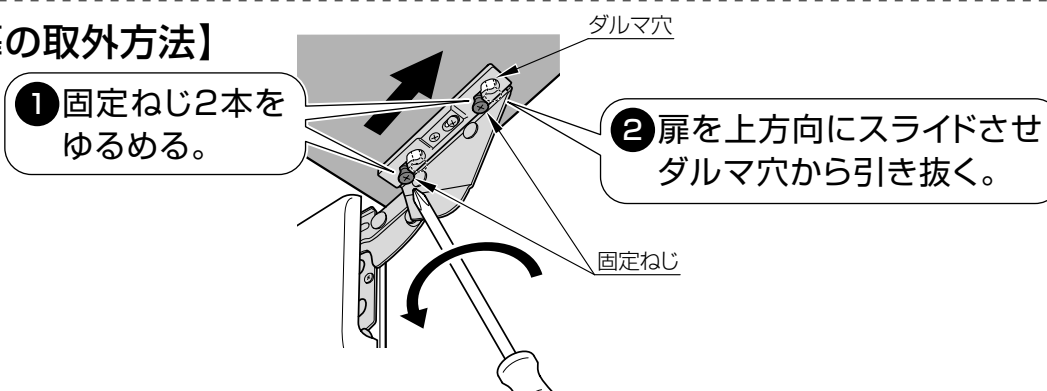
扉および引き出しを傷つけないように、開梱後すぐに取り外し、P.7【扉・引き出し・キャビネットの養生方法】の要領で1カ所にまとめて保管してください。



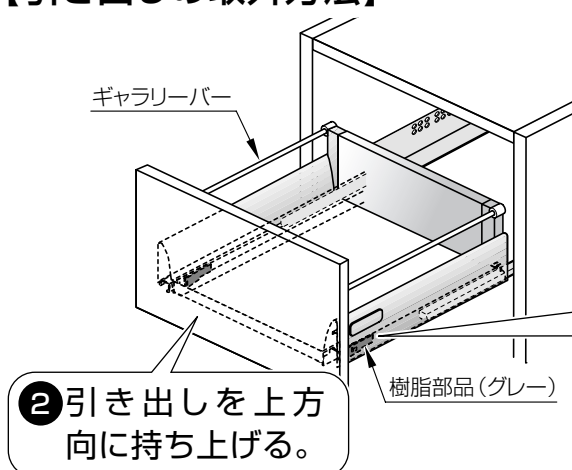
【扉の取外方法】



【はね上げ式扉の取外方法】



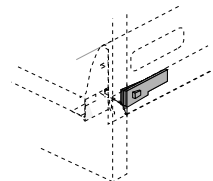
【引き出しの取外方法】



⚠ 注意

❌ ギャラリーバー部分を持たない
ギャラリーバーが外れて引き出しが落下しけがをするおそれがあります。

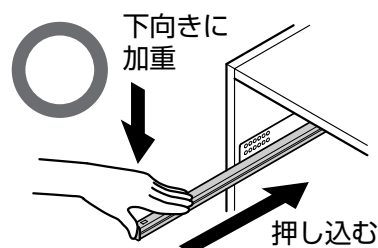
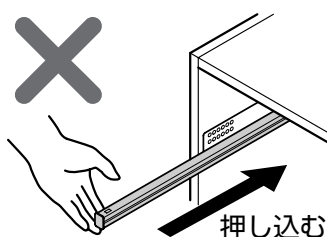
① 引き出し底板の両端にある樹脂部品(グレー)を内側に押し込みながら



※無理に外すと作動不良や破損のおそれがあります。

お願い

引き出しを取り外した後にレールを収める時は、レールの先を下向きに加重しながら押し込んでください。そのまま押し込むと、作動不良や破損の原因となります。

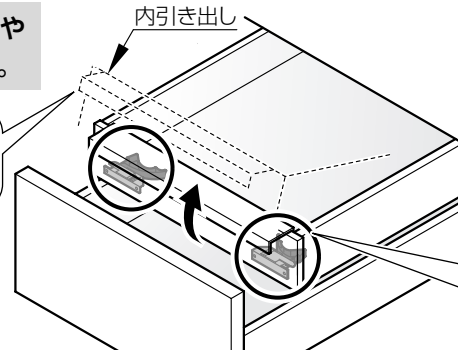


2.扉・引き出しの取り外し(続き)

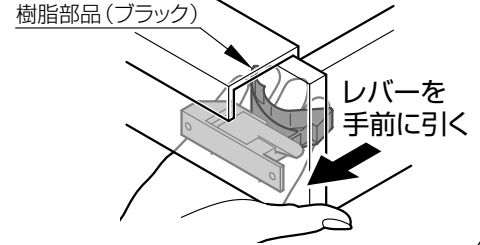
【内引き出しの取外方法】

※無理に外すと作動不良や破損のおそれがあります。

- ② 引き出しを上方向に持ち上げる。



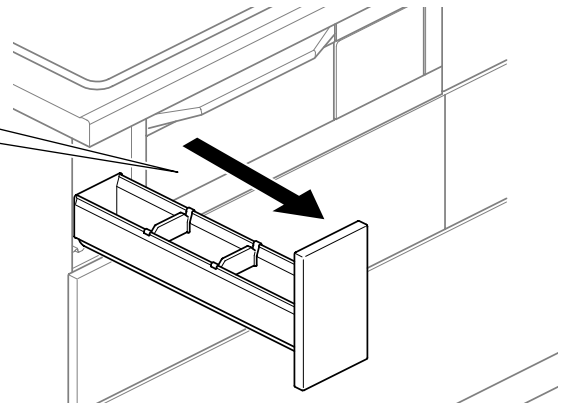
- ① 内引き出し底面の両端にある樹脂部品(ブラック)のレバーを手前に引きながら樹脂部品(ブラック)



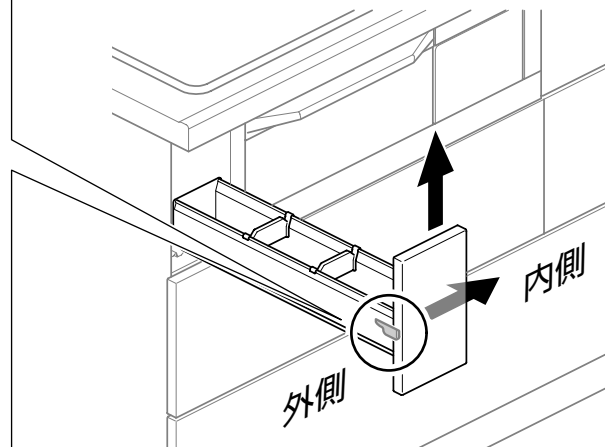
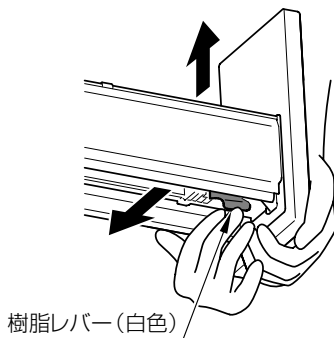
【コンロ横小引き出しの取外方法】

- ① 引き出しを完全に引き出す。

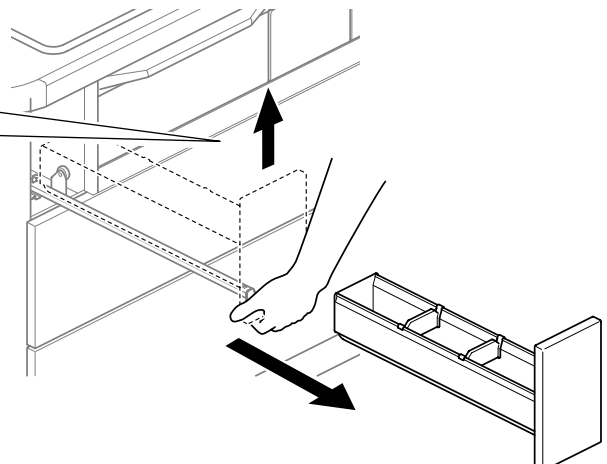
※無理に外すと作動不良や破損のおそれがあります。



- ② 引き出し底板の外側にある樹脂レバー(白色)を内側に押し込みながら、引き出しの手前側を軽く上方向に持ち上げる。



- ③ 1cm程持ち上げたまま、まっすぐ引き抜いて外す。

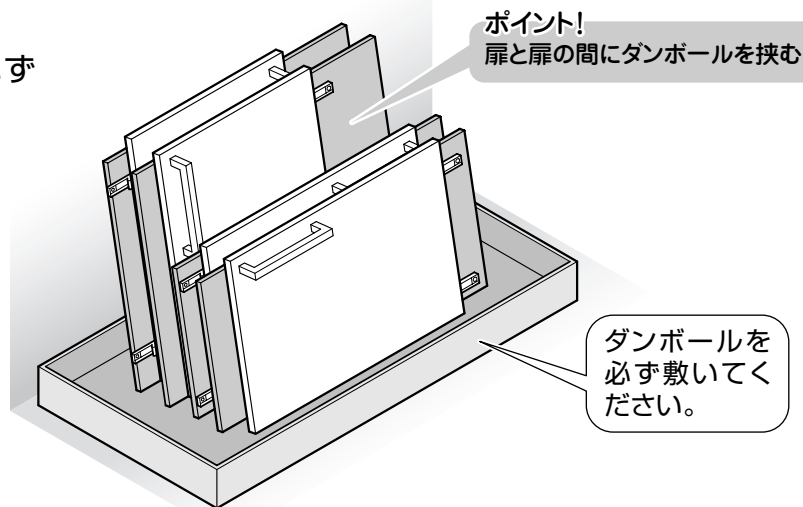


2.扉・引き出しの取り外し(続き)

【扉・引き出し・キャビネットの養生方法】

〈扉の場合〉

立掛けて保管するときは、必ず取っ手を上にしてください。

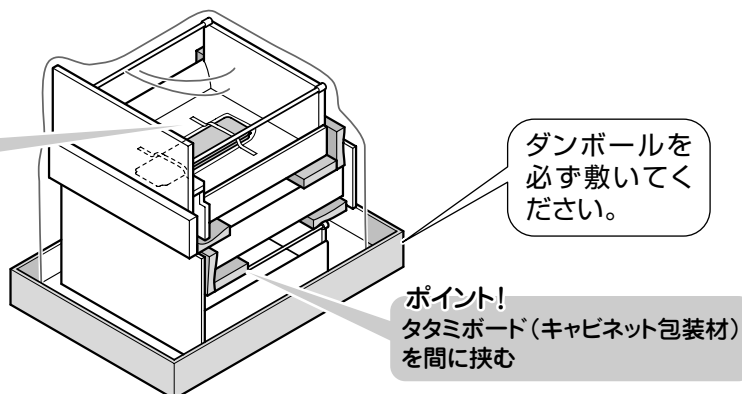


〈引き出しの場合〉

積み重ねて保管するときは、互い違いにしてください。

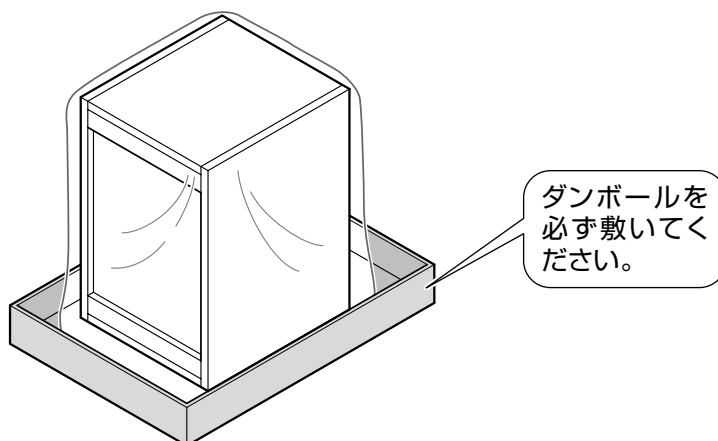
ポイント!

引き出しの底板に引き出しサイドパネルが貼り付けられている場合は取り付け間際まで外さない
(取付方法 P.26)



〈キャビネットの場合〉

ウォールキャビネットの底面を床に直接置かないでください。



3 キッチンパネルの取り付け

キッチンパネルがある場合は、キャビネットの取付前にキッチンパネルを取り付けてください。
取付方法はキッチンパネル用接着キットに付属の組立・設置説明書を参考にしてください。

4 ウォール部の取り付け

1. フードの取り付け

⚠ 注意

❗ 機器に付属の組立・設置説明書・本体の注意表示を必ず確認し、正しい取り付けを行う
取付方法を誤ると、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。

2. ウォールキャビネットの取り付け

〈ウォールキャビネットの場合〉

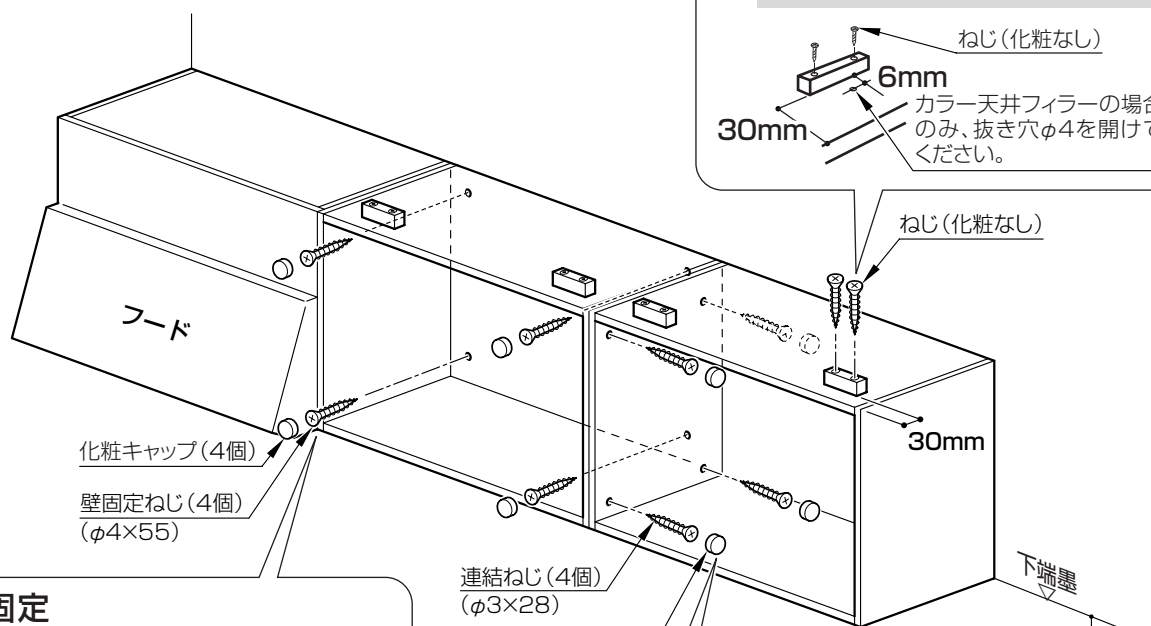
キャビネット下端墨に合わせ、次の要領にて取り付けてください。

〈安心ロック付きキャビネット〉

付属の組立・設置説明書を参考にして取り付けてください。

① 天井フィラー受け材の取り付け (受け材および取付ねじは天井 フィラーに付属)

※キャビネット壁固定前に取り付けてください。

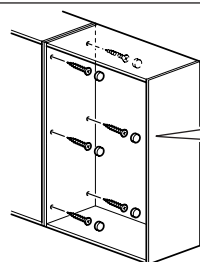


② 壁固定

後横さんの下穴に合わせて裏板に下穴を開けてから壁固定する。

③ 連結

隣接するキャビネットの底面、前面を合わせ、連結する。



背の高いキャビネットの連結は上・中・下の3カ所を固定する。

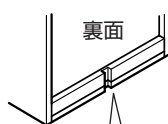
スリムライトなどの照明を底面に取り付ける場合は、切り欠きを設けてください。

照明内蔵タイプ



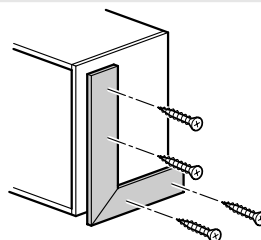
配線用の穴加工をする。

標準タイプ・不燃タイプ



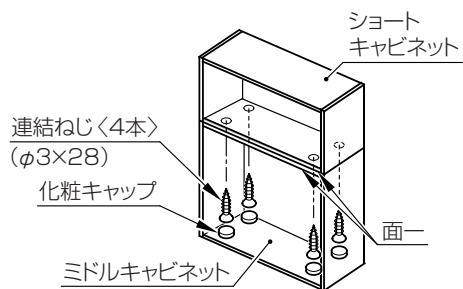
切り欠きを設ける。

エンドスペーサーがある場合は必ずキャビネット取付前に取り付けてください。



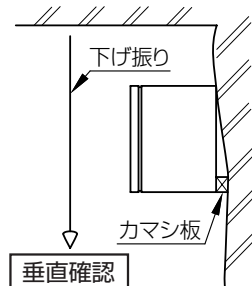
2.ウォールキャビネットの取り付け（続き）

上下のキャビネットの連結



取り付け上のご注意

ウォールキャビネットを取り付ける壁面に凹凸がある場合は扉に段違いが生じますので、下図のように下げ振りなどで垂直確認を行い、カマシ板（現場調達）などで調整を行ってください。



3.ウォールキャビネットの固定【L型・A型レイアウトの場合】

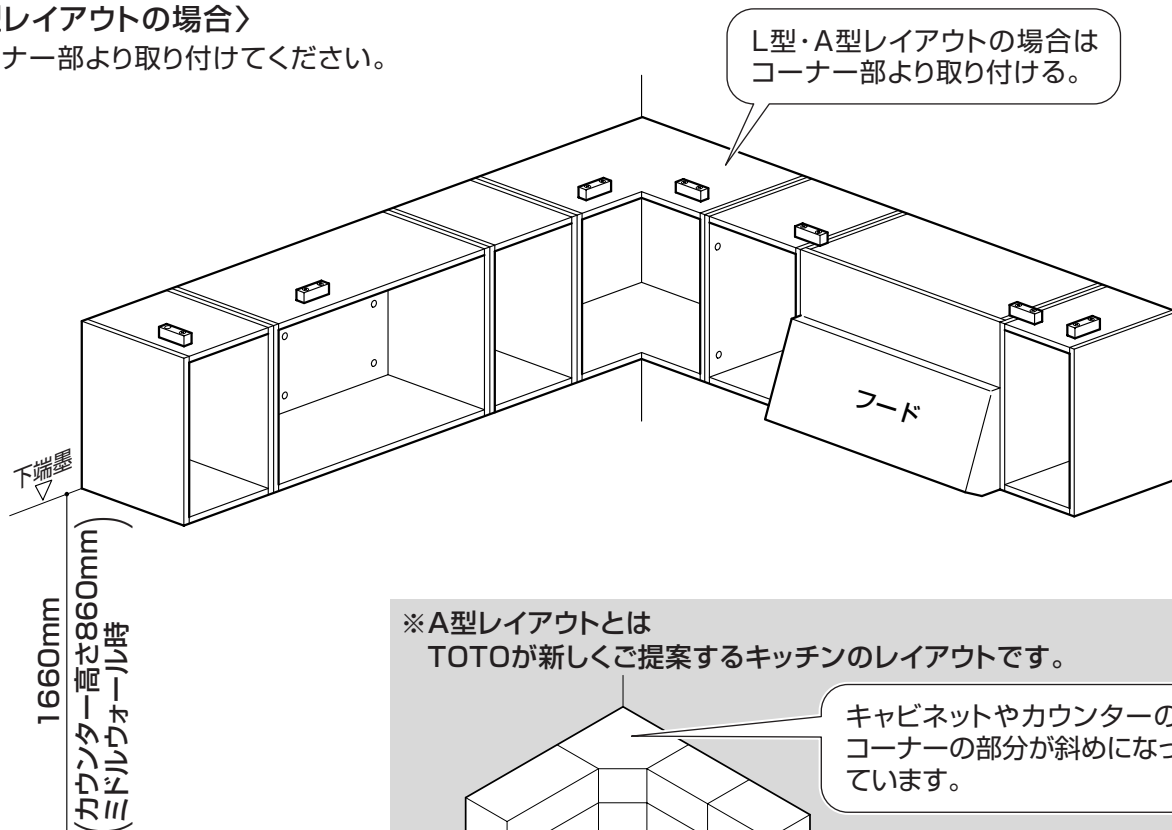
＜A型レイアウトの場合＞

コーナー部より取り付けてください。

コーナーウォール（A型）・コーナーウィングキャビネットの取り付けに関しては付属の組立・設置説明書を参照してください。

＜L型レイアウトの場合＞

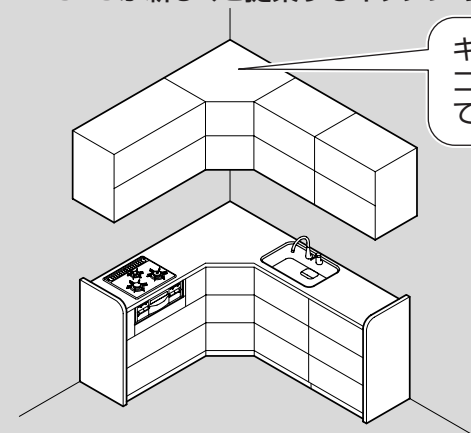
コーナー部より取り付けてください。



※A型レイアウトとは

TOTOが新しくご提案するキッチンのレイアウトです。

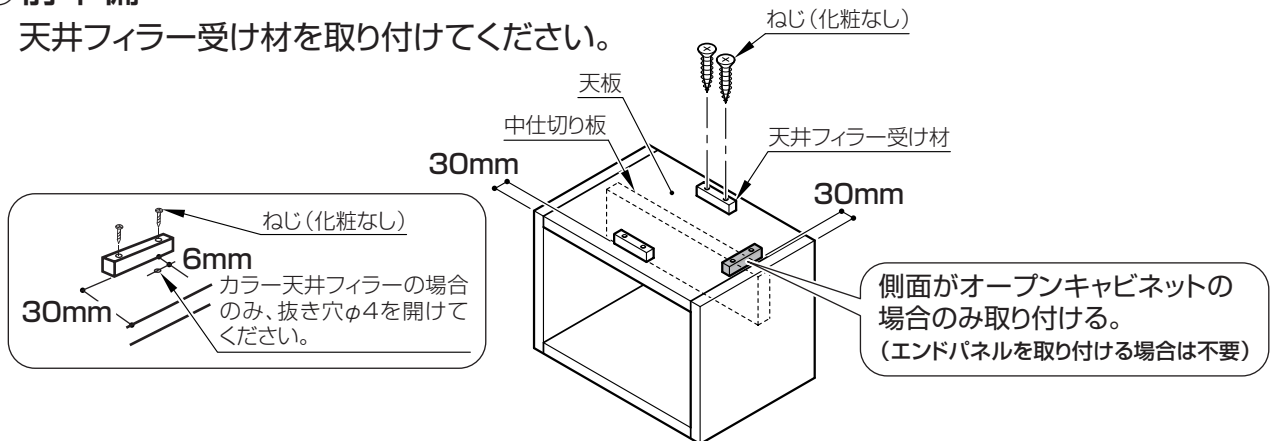
キャビネットやカウンターのコーナーの部分が斜めになっています。



4. 天吊りキャビネットの取り付け

① 前準備

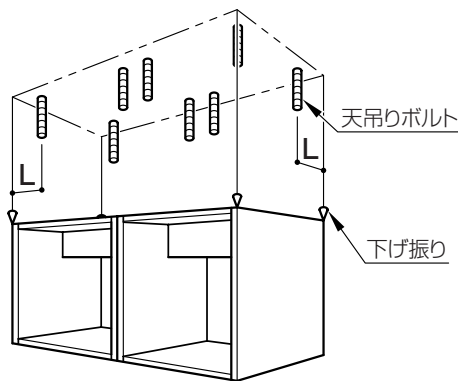
天井フィラー受け材を取り付けてください。



② 天吊りキャビネットの位置決め

下げ振りでキャビネットの位置を決めてください。

キャビネットの前後左右からのボルト位置(L)を測定してください。



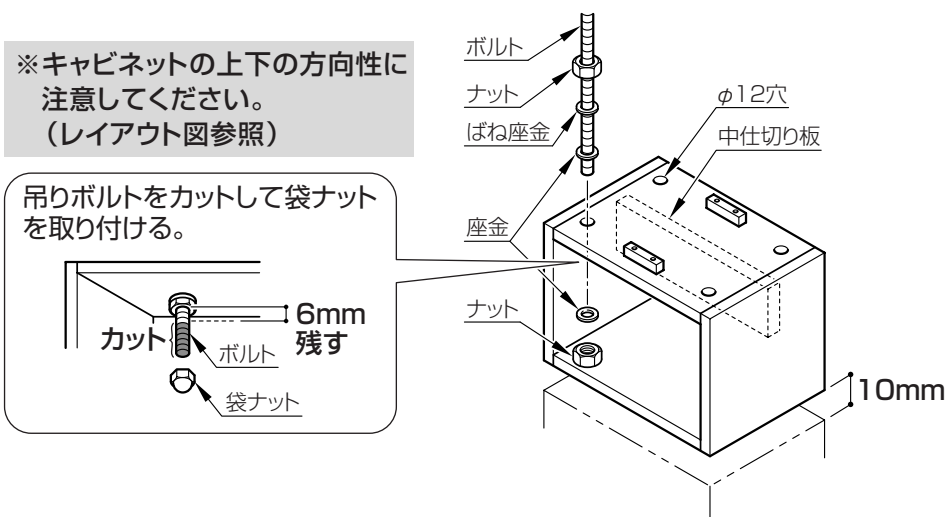
③ 天吊り仕様キャビネットの取り付け

②で測定したボルト位置(L)寸法に合わせた天吊りボルト用の穴をあけてください。
それぞれのキャビネットを下図のように吊ってください。

※標準設置高さより約10mm程度高めに吊っておくと中間のキャビネットの取り付けが簡単です。
また、袋ナットはキャビネット取付後に取り付けてください。

※キャビネットの上下の方向性に
注意してください。
(レイアウト図参照)

吊りボルトをカットして袋ナット
を取り付ける。



5 天井フィラーの取り付け

1. カットと取り付け

カット面がオープンになる場合は、縁貼材を貼る。
(ゴム系接着剤)

天井フィラー
カットした面を下にしてください。

天井とキャビネットのすき間 (H寸法) を測り、天井フィラーをH寸法に合わせてカットする。

皿木ねじ (化粧あり)
($\phi 3.1 \times 32$)

メタリックシルバーの天井フィラーの場合、前面から受け材に固定する。

カラー天井フィラーの場合、天井フィラーを受け材に押し付け下側から固定する。

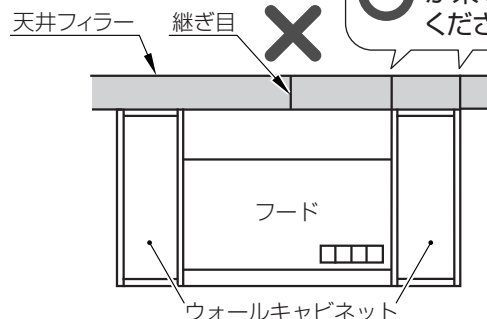
受け材

H

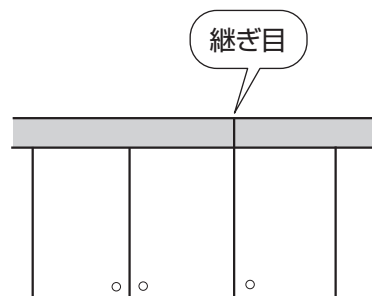
連結ねじ
($\phi 3 \times 28$)

キャップ

※フードには、天井フィラー受け材が取り付けられないため、天井フィラーの継ぎ目がフードの上に来ないようにしてください。



どちらかに継ぎ目が来るようにしてください。



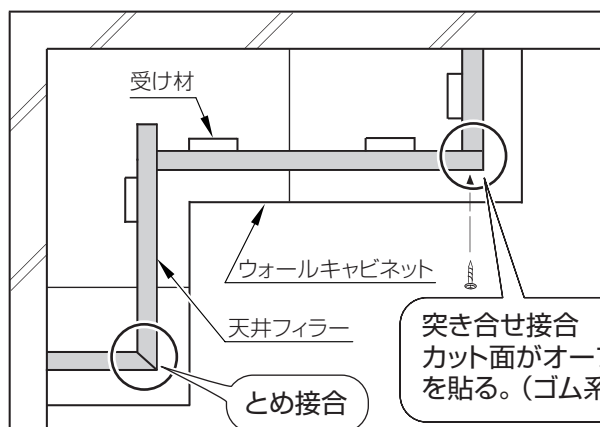
※天井フィラーの継ぎ目はウォールの扉に合わせると、きれいに仕上がります。

2. コーナー部および端面部の処理

端面部は下図の突き合わせ接合または、とめ接合で仕上げてください。

〈A型レイアウトの場合〉

コーナーウォールキャビネット (A型) 付属の組立・設置説明書を参照してください。



突き合わせ接合
カット面がオープンになる場合は縁貼材を貼る。(ゴム系接着剤)

3.フードのみ（ウォールキャビネットなし）の場合

①角材の取り付け

天井面に角材（垂木材、現場調達）を取り付けてください。

※野縁にねじ止め。

必ずフード設置前に取り付けが必要です。

②天井フィラーの取り付け

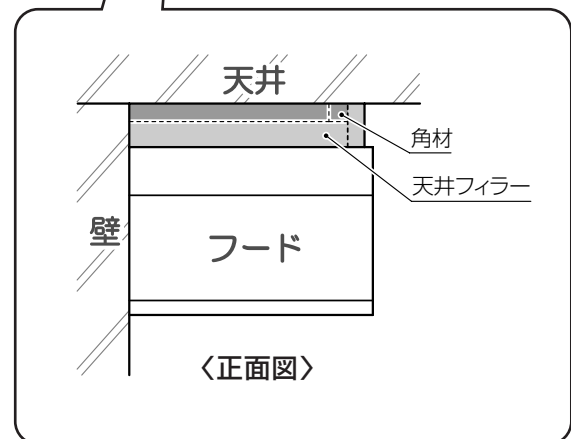
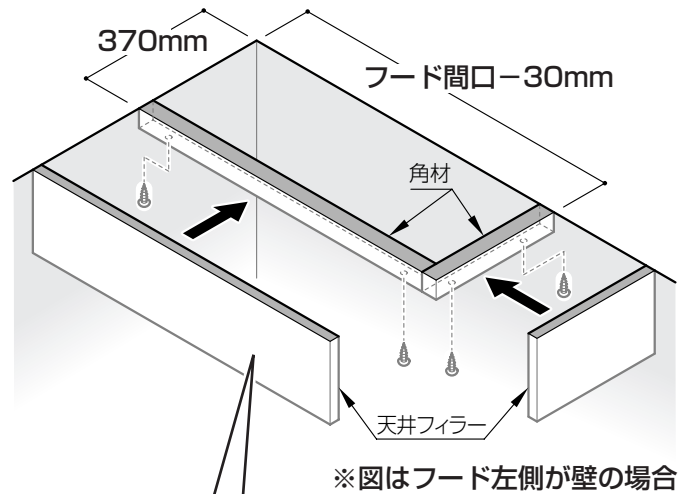
天井フィラーを両面テープと接着剤（現場調達）で取り付けてください。

※キッチンパネル用の両面テープと接着剤でも可能です。

⚠ 注意



天井面への角材取り付けおよび角材への天井フィラー取り付けは確実に取り付ける
確実な取り付けを誤ると天井フィラーが落下して
けがをするおそれがあります。



6 フロアキャビネットの取り付け

1.配管用穴開けおよび側板切り欠き

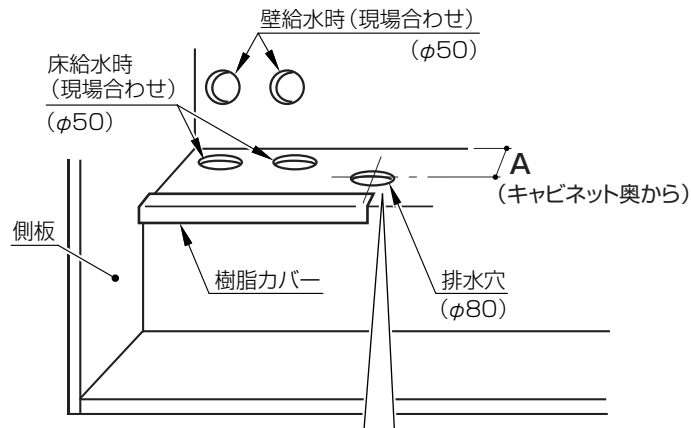
①穴加工

加工位置は図を参考に現物合わせをして決めてください。

※給水・給湯の穴加工は、カウンター上に水栓を設置する際必要です。
壁面・その他に水栓を設置する場合は不要です。

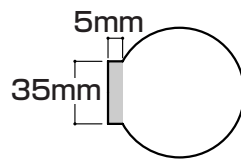
〈シンク用キャビネットの場合〉

※寸法は標準品の場合



ビルトインイオン水生成器設置で直管の場合

※シーリングプレートでかくれるように切り欠いてください。

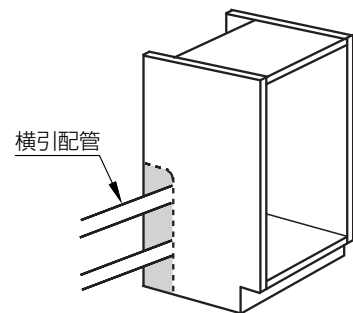


シンク形状	A寸法
 フレックスCシンク コンパクトフレックスCシンク クリスタルCシンク プレーンフレックスCシンク	95mm
 スペースアップCシンク コンパクトCシンク	80mm

②側板の切り欠き

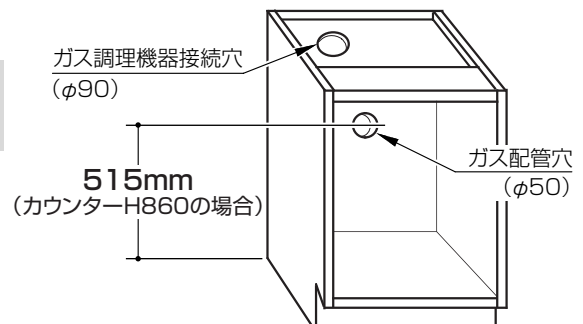
横引配管の場合は、配管が通るキャビネットの側板を切り欠いてください。

※ニースペースタイプ用一段引き出しの切り欠き方法はニースペースタイプ用一段引き出し付属の組立・設置説明書を参照してください。



③コンロ用キャビネットの穴加工

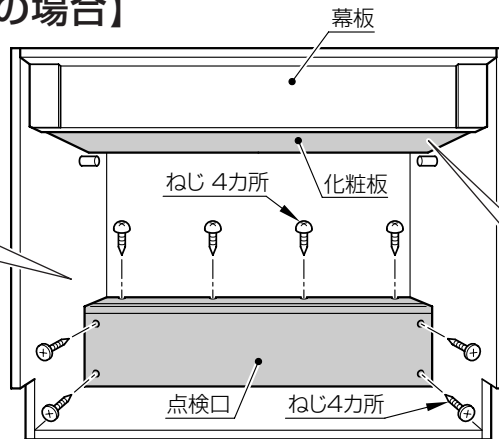
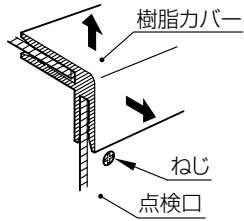
※天板の穴加工位置は、コンロ用キャビネット付属の組立・設置説明書を参照してください。



2.点検口および化粧板の取り外し 図の要領で点検口、化粧板を取り外してください。

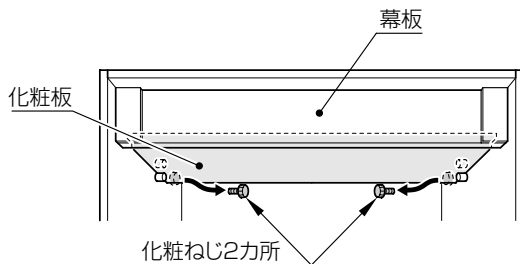
【オールスライドタイプの場合】

ねじと樹脂カバーを外し、点検口の着脱を行う。

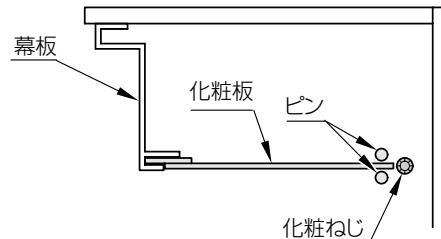


シンクキャビネット化粧板の取り外しかた

① 化粧ねじを取り外す (2カ所)

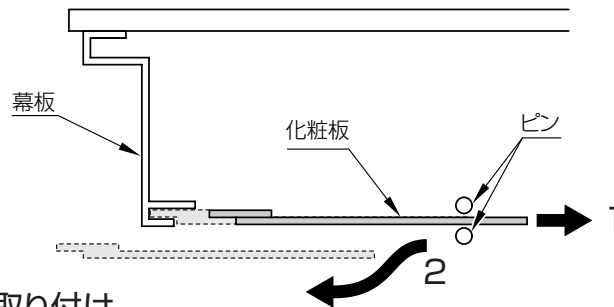


【断面図】



② 化粧板を下記の順で取り外す

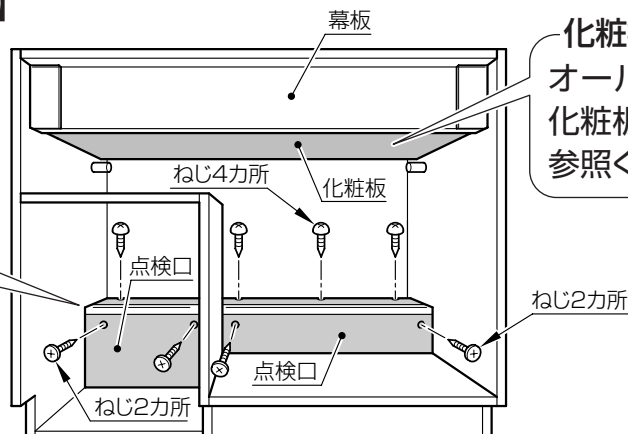
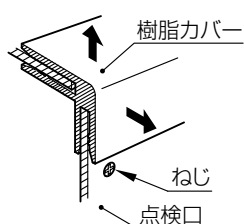
【断面図】



③ 取り付けは逆の手順で取り付け

【片開き扉タイプの場合】

ねじと樹脂カバーを外し、点検口の着脱を行う。

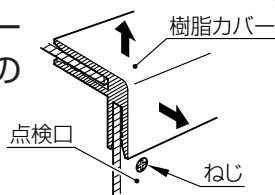


化粧板の取り外しかた
オールスライドタイプの
化粧板の取り外しかたを
参照ください。

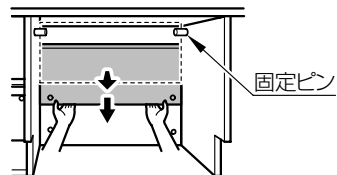
2.点検口および化粧板の取り外し（続き） 図の要領で点検口、化粧板を取り外してください。

【片オープンタイプの場合】

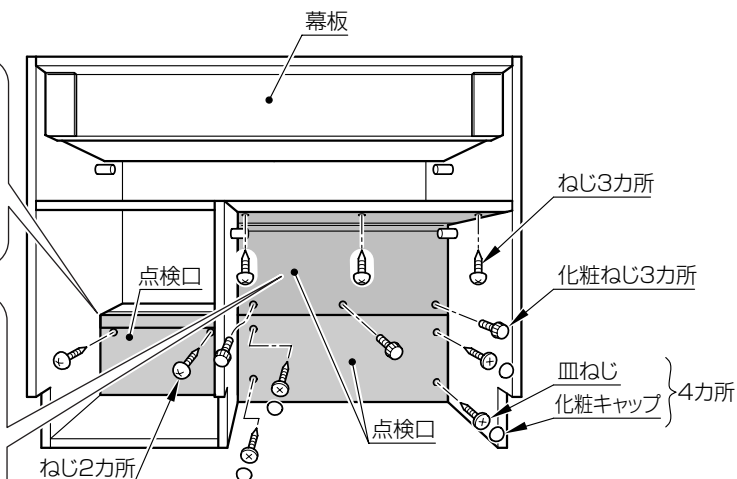
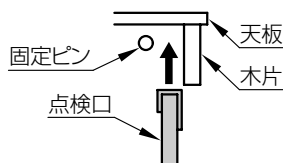
- ① ねじと樹脂カバーを外し、点検口の着脱を行う。



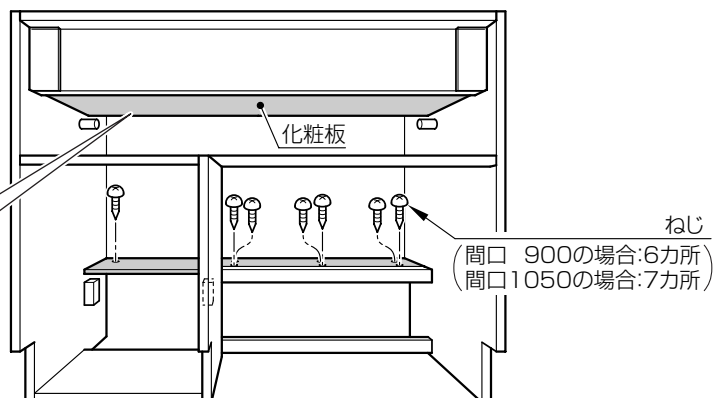
- ② 点検口を手前に引きながら下げ、取り外す。



- ③ 点検口を取り付ける場合は、固定ピンと木片の間に差し込む。

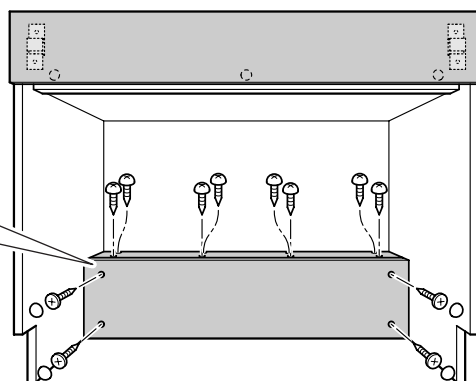


化粧板の取り外しかた
—allスライドタイプの化粧板の
取り外しかたを参照ください。



【ニースペースタイプの場合】

ねじを外し点検口を
取り外す。

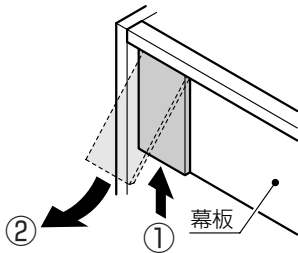


3.シンクキャビネット幕板の取り外し

※通常取り付けの際は、幕板を外す必要はありません。
カウンターを納める際に壁の不陸などで納めにくい場合は事前に取り外してください。

【オールスライドタイプ、片開き扉タイプ、片オープンタイプ】

化粧カバー（左右2カ所）は
①の箇所を指で押し上げて
②の方向へ外す。



化粧カバーとねじを
外し幕板を手前にスラ
イドさせて取り外す。

手前

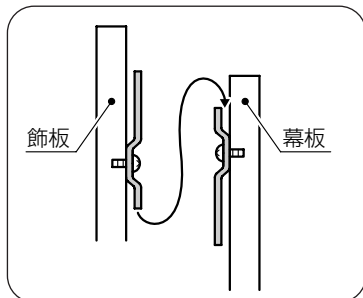
ねじ
化粧カバー

ねじの取り外し・取り付けは電動工具を使用しないでハンド
ドライバーを使用して必ず手回しで行う。
ねじが損傷して幕板が取り付けできなくなります。

【ニースペースタイプの場合】

① 飾板の取り外し

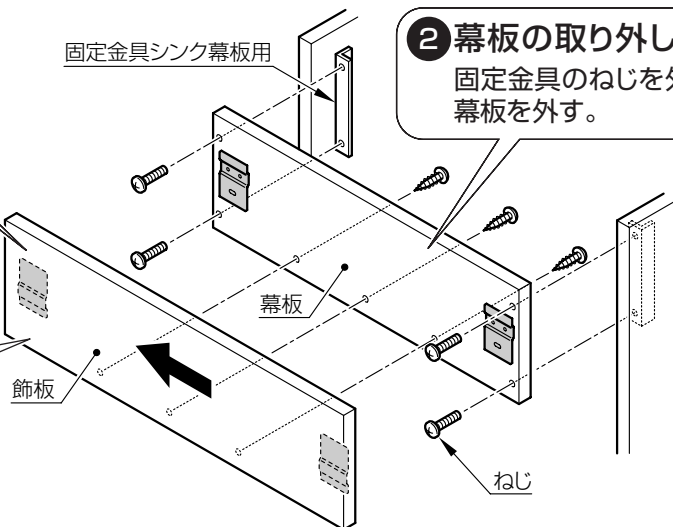
幕板裏側から飾板を固定するねじ
（3カ所）を外し、飾板を左右にずら
して飾板を外す。



② 幕板の取り外し

固定金具のねじを外し、
幕板を外す。

固定金具シンク幕板用



4.フロアキャビネットの取り付け

【ニースペースタイプ以外の場合】

〈L型レイアウトの場合〉

コーナーキャビネットから取り付けます。

〈A型レイアウトの場合〉

コーナーキャビネットから取り付けます。

A型コーナーキャビネット付属の組立・設置説明書を参照ください。

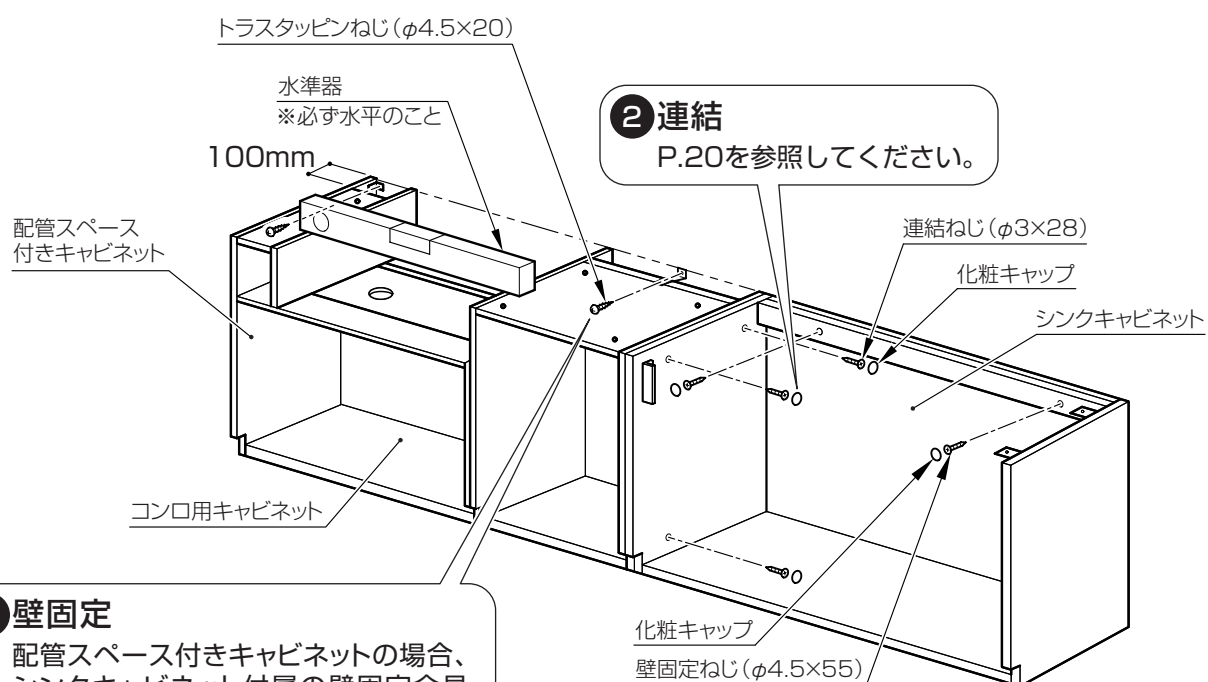
〈コンロ用キャビネットの取り付け方法〉

コンロ用キャビネットに付属の組立・設置説明書を参照してください。

〈スペーサー付きキャビネットや、エンドスペーサーを使用する場合〉

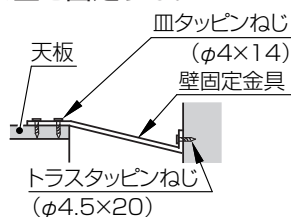
キャビネットを設置する前に取り付けてください。

(取り付け方法はキャビネットまたはエンドスペーサーに付属の組立・設置説明書を参照してください。)

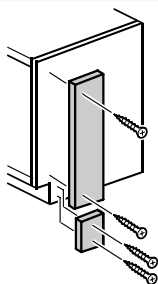


3 壁固定

配管スペース付きキャビネットの場合、シンクキャビネット付属の壁固定金具とねじで壁と固定する。

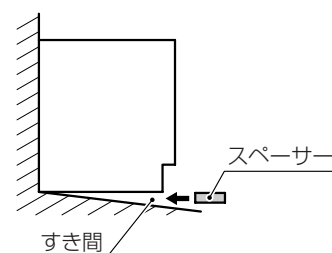


エンドスペーサーは必ずキャビネット設置前に取り付けてください。



1 水平出し

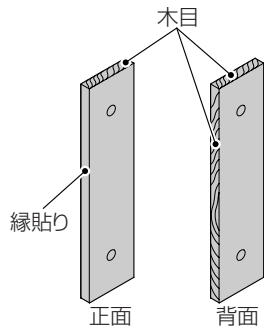
床の水平が出ていない場合は床とフロアキャビネットの間に付属の不陸調整用スペーサーを入れてレベル調整する。



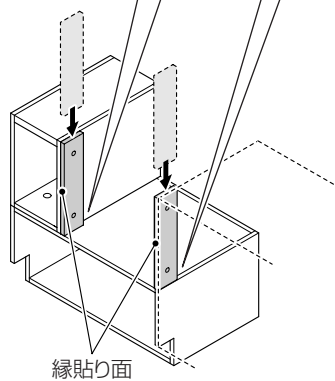
4.フロアキャビネットの取り付け (続き)

大容量タイプの食器洗い乾燥機用キャビネットの場合

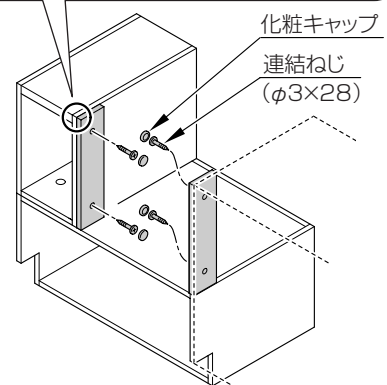
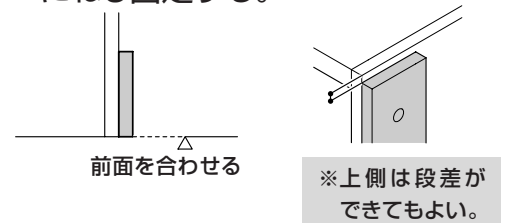
- ①** 2枚の板がキャビネットに付属されています。



- ②** 下のキャビネットに置く。



- ③** 隣のキャビネットと面一になるように合わせ、両隣のキャビネットにねじ固定する。

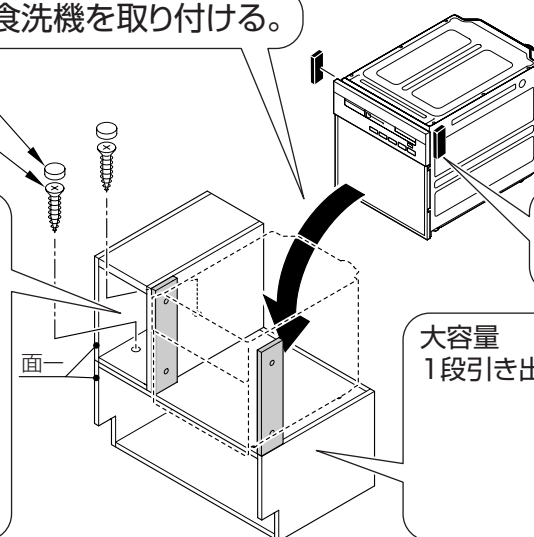
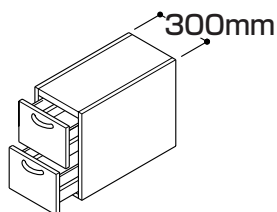


- ⑤** 食洗機を取り付ける。

化粧キャップ
連結ねじ
(φ3×28)

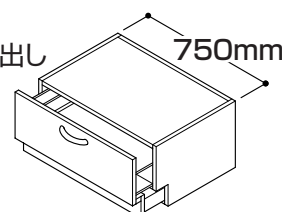
2段引き出し

※取付位置は、レイアウト図をご確認ください。



- ④** スパースを貼り付ける。
(食器洗い乾燥機に付属)

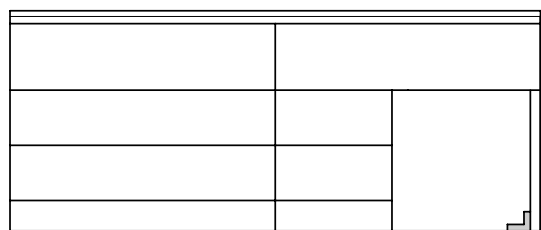
大容量
1段引き出し



オープンキャビネットが端に来る場合

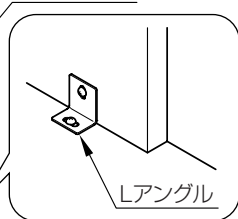
オープンキャビネット側の側面固定ができない場合はシンクキャビネット付属のLアングルで床固定をしてください。

(床暖房設備がある場合はエポキシ接着剤などで貼り付けてください。)



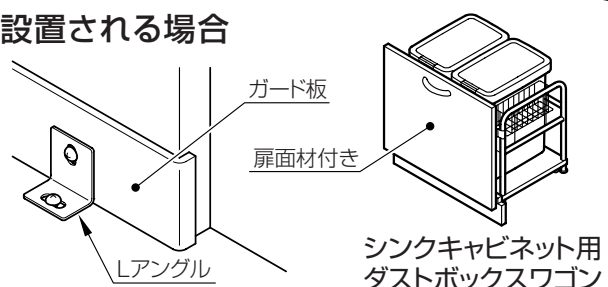
エンドパネル

Lアングル



シンクキャビネット用ダストボックスワゴンが設置される場合

シンクキャビネットオープン側にガード板(シンクキャビネット用ダストボックスワゴンの付属品)を取り付けるため、Lアングルとガード板を共締めしてください。ガード板の取り付け方法は、シンクキャビネット用ダストボックスワゴンの組立・設置説明書をご確認ください。



4.フロアキャビネットの取り付け(続き)

【ニースペースタイプの場合】

一段引き出し(ニースペースタイプ)、シンクキャビネット(ニースペースタイプ)は **付属の補強箱を使用し、オープン部分を支えた状態で壁固定してください。**(壁固定後に補強箱を外します)

＜A型レイアウトの場合＞

A型コーナーキャビネット(ニースペースタイプ)に付属の組立・設置説明書を参照ください。

＜コンロ用キャビネットの取り付け方法＞

コンロ用キャビネットに付属の組立・設置説明書を参照してください。

＜スペーサー付きコンロ用キャビネットや、エンドスペーサーを使用する場合＞

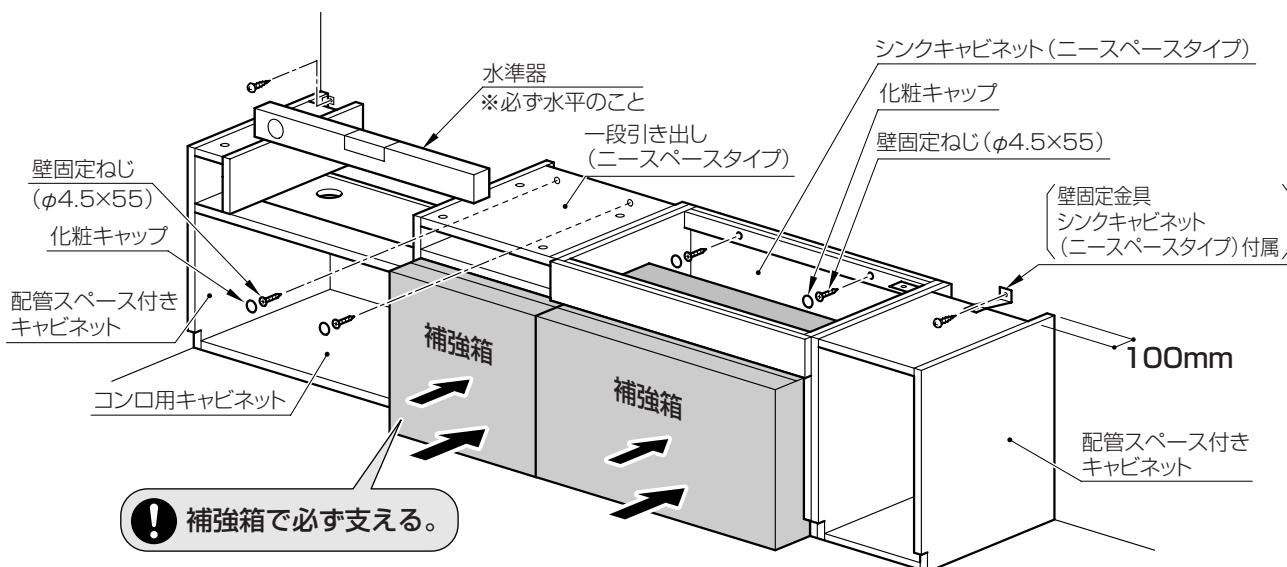
キャビネットの取り付け前にスペーサーを取り付けてください。

(取り付け方法はコンロ用キャビネットまたはエンドスペーサーに付属の組立・設置説明書を参照してください。)

⚠ 注意

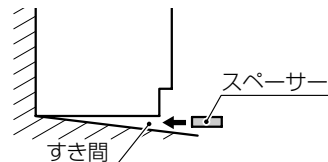


シンクキャビネット、オープンキャビネットの壁固定は必ず行う
固定をしない場合、キャビネットが倒れて、けがをするおそれがあります。



① 水平出し

床の水平が出ていない場合は床とフロアキャビネットの間に付属の不陸調整用スペーサーを入れてレベル調整する。

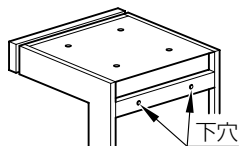


② キャビネット同士の連結

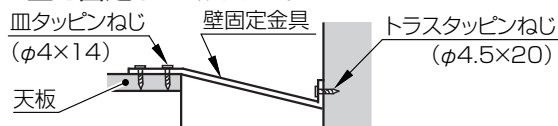
キャビネット同士の連結方法については、P.18を参照してください。

③ 壁固定

一段引き出し(ニースペースタイプ)は後横さんの下穴に合わせて裏板に下穴を開けてから壁固定してください。



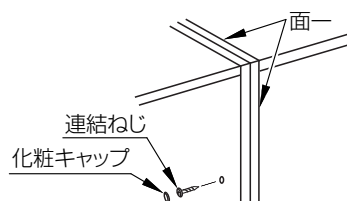
配管スペース付きキャビネットの場合、シンクキャビネット(ニースペースタイプ)に付属の壁固定金具とねじで壁と固定してください。



4.フロアキャビネットの取り付け (続き)

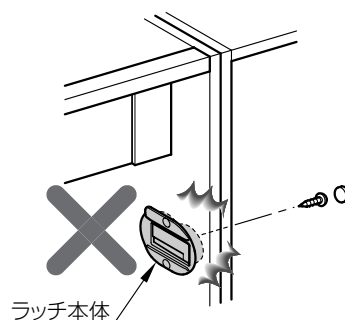
② キャビネット同士の連結

キャビネット前面および上面を合わせ、キャビネットに付属している連結ねじ (φ3×28、3本) で連結してください。



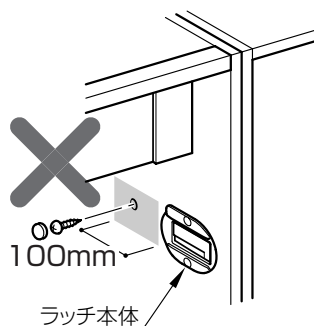
安心ロック付き引き出しフロアキャビネットは連結位置にラッチ本体が付いていない事を必ず確認してください。

ラッチ本体とねじが干渉して破損するおそれがあります。



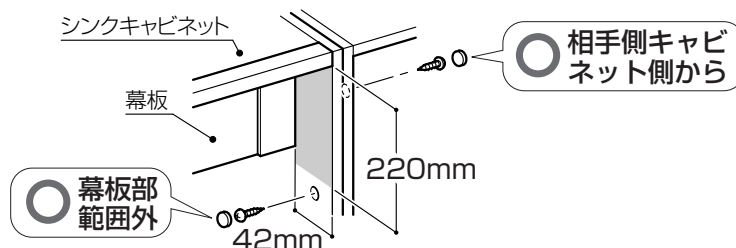
安心ロック付き引き出しフロアキャビネットを連結する場合は ■ 部範囲以外の場所で固定してください。

引き出し側ラッチ受けとねじが干渉して破損または引き出しが閉まらなくなるおそれがあります。



シンクキャビネットにアルカリスリムビルトインを設置する場合、幕板付近 (■ 部) にはシンクキャビネット側から連結しないでください。取り付けできなくなります。

連結する場合は相手側のキャビネット側から固定するもしくは ■ 部範囲以外の場所で固定してください。



7 キッチンカウンターの取り付け

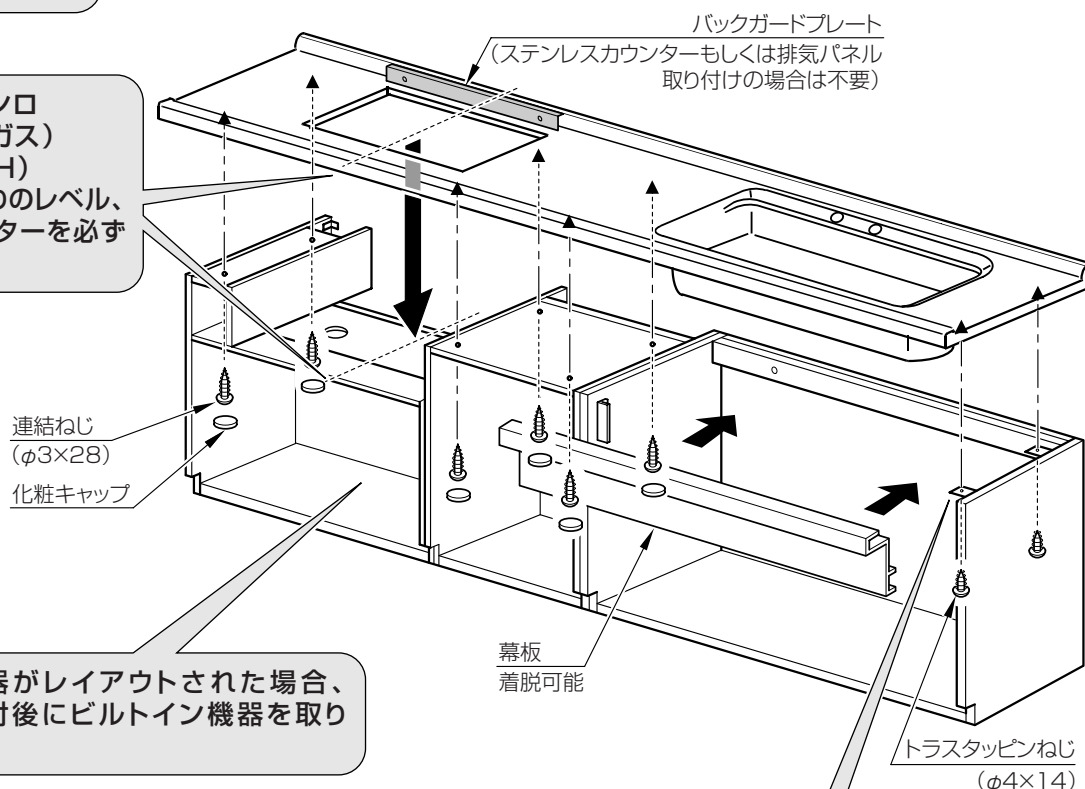
1. キッチンカウンターの固定

【ニースペースタイプ以外の場合】

- ①キッチンカウンターをフロアキャビネットにのせ、取付位置を確認後、フロアキャビネットの内側から連結ねじ(φ3×28)で固定してください。(シンクキャビネットはトラスタッピンねじφ4×14)
- ②幕板を外した場合は、キッチンカウンター設置後、幕板を取り付けてください。
- ③バックガードプレートを付属の組立・設置説明書に沿って取り付けてください。

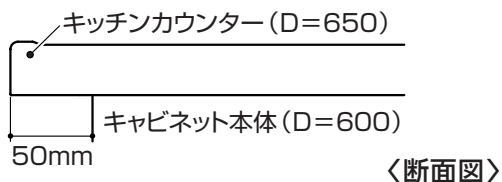
指定以上の長いねじを使用するとカウンターに傷、ひび割れが生じます。

フルフラットコンロ
KHMG163(ガス)
KHME163(IH)
の場合コンロ回りのレベル、
コンロ穴のセンターを必ず
合わせる。

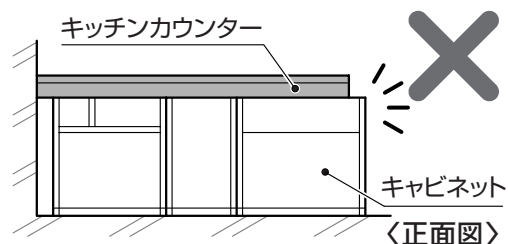


ビルトイン機器がレイアウトされた場合、
カウンター取付後にビルトイン機器を取り
付ける。

※キッチンカウンターとキャビネット本体の
位置関係は下図を参考にしてください。



※キャビネットがキッチンカウンターより飛び
出さないこと。

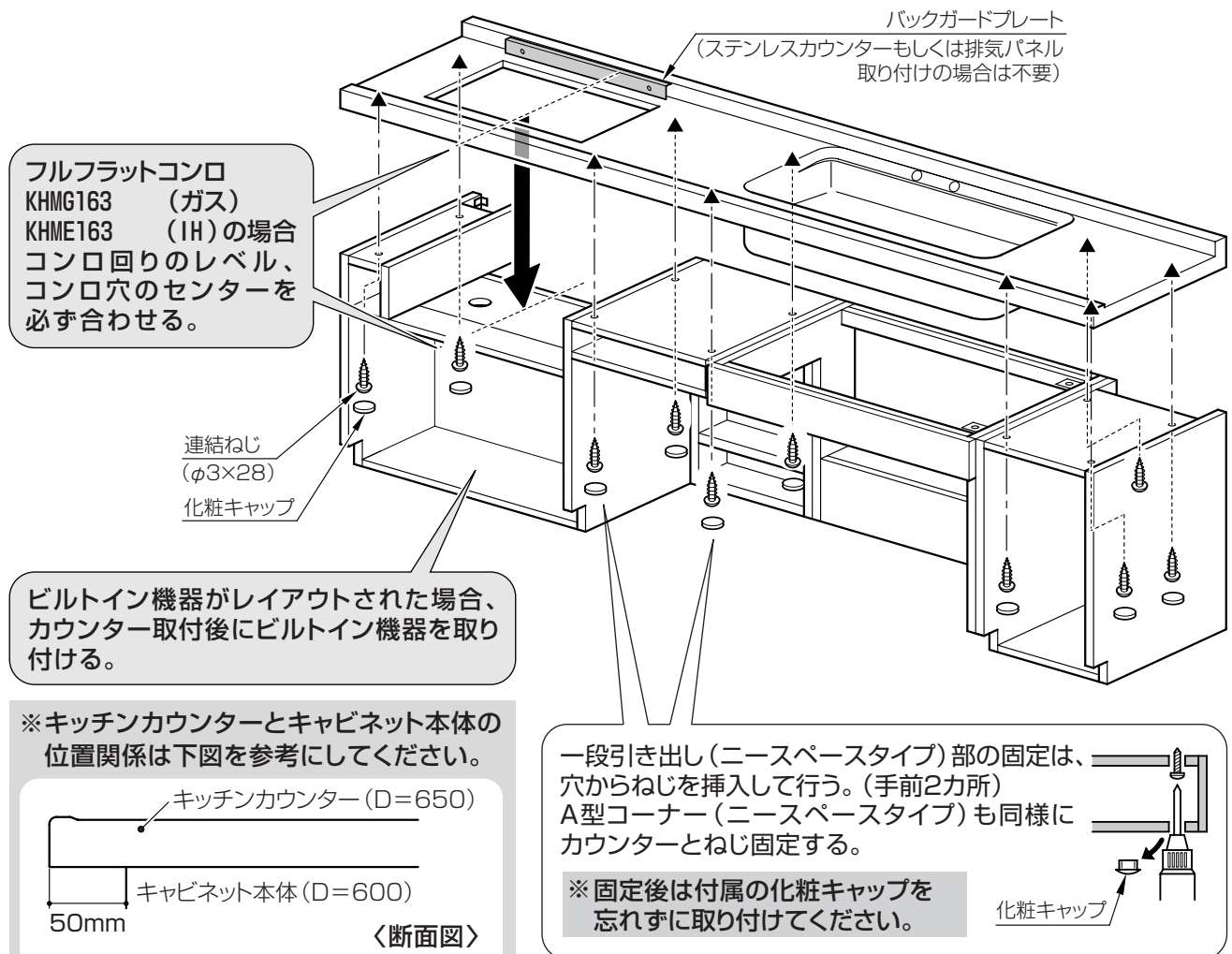


シンクキャビネットとカウンターの固定は
シンクキャビネットがレイアウト端に設置さ
れる場合のみ行う。
それ以外の場合は、カウンターとの固定は
不要。

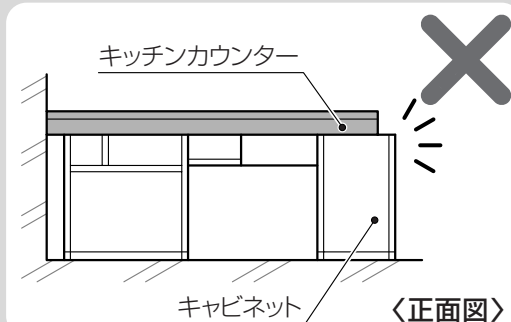
1. キッチンカウンターの固定 (続き)

【ニースペースタイプの場合】

- ① キッチンカウンターをフロアキャビネットにのせ、取付位置を確認後、フロアキャビネットの内側から連結ねじ (φ3×28) で固定してください。(シンクキャビネットはトラスタッピンねじφ4×14)
- ② 幕板を外した場合は、キッチンカウンター設置後、幕板を取り付けてください。
- ③ バックガードプレートを付属の組立・設置説明書に沿って取り付けてください。



※キャビネットがキッチンカウンターより
飛び出さないこと。



7) キッチンカウンターの取り付け

2.L型・A型コーナーレイアウトの場合のコーナー継ぎ

※コーナーウイングキャビネットを取り付ける場合、コーナー継ぎを先に行ってください。
コーナーウイングキャビネットは、キャビネットに付属の組立・設置説明書に従い取り付けてください。

カウンターに付属の組立・設置説明書に従って取り付けてください。

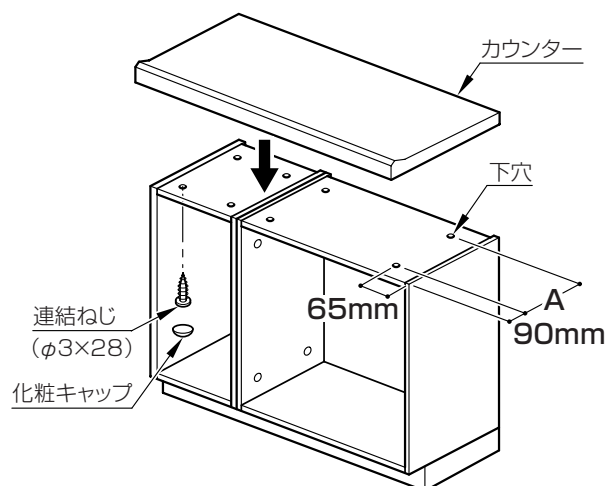
3.スクリーンの取り付け

スクリーンを取り付ける場合、カウンター付属のスクリーンに付属している組立・設置説明書に従い、取り付けてください。

4.周辺カウンターの取り付け

キャビネット天板から連結ねじで固定してください。(ウォール・ツール類のキャビネットをフロア使いする場合は、カウンターの木さん位置に合わせて天板に下穴をあけてから行ってください。)

	A寸法
奥行き450 カウンター用	220mm
奥行き650 カウンター用	330mm



8 排水金具の取り付け

排水金具に付属の組立・設置説明書に従って取り付けてください。

⚠ 注意

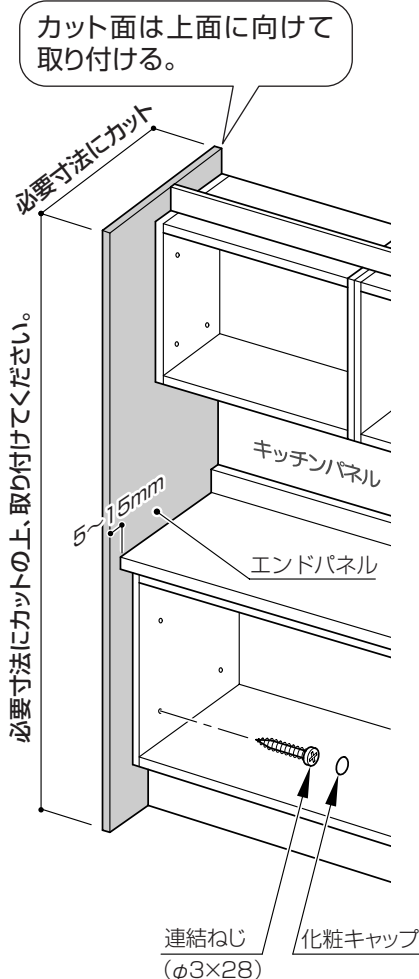


排水金具に付属されている組立・設置説明書の注意事項を必ず確認し、正しい取り付けを行う
取付方法を誤ると、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。

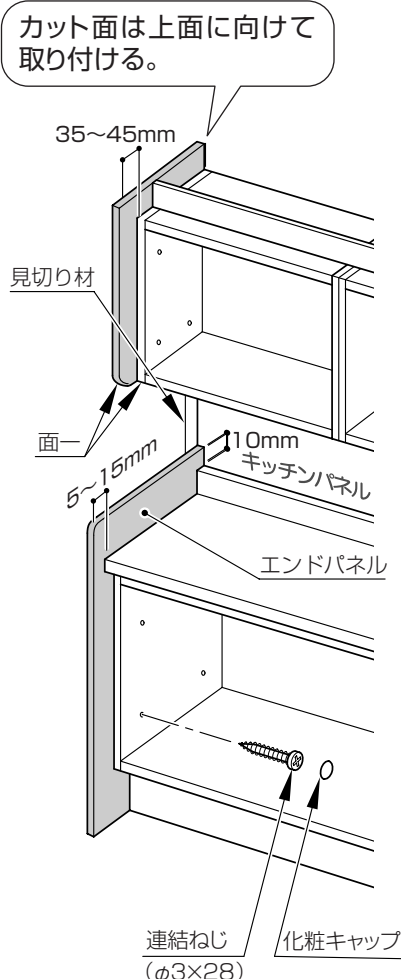
9 エンドパネルの取り付け

- ①キャビネット天井高さに合わせ、エンドパネルをカットしてください。(下図参照)
- ②取り付けはキャビネット内側より連結ねじで止めてください。
- ③エンドパネルとカウンターや壁面とのすき間をシリコンシーラントでコーキングしてください。
(「17.コーキング処理」参照)

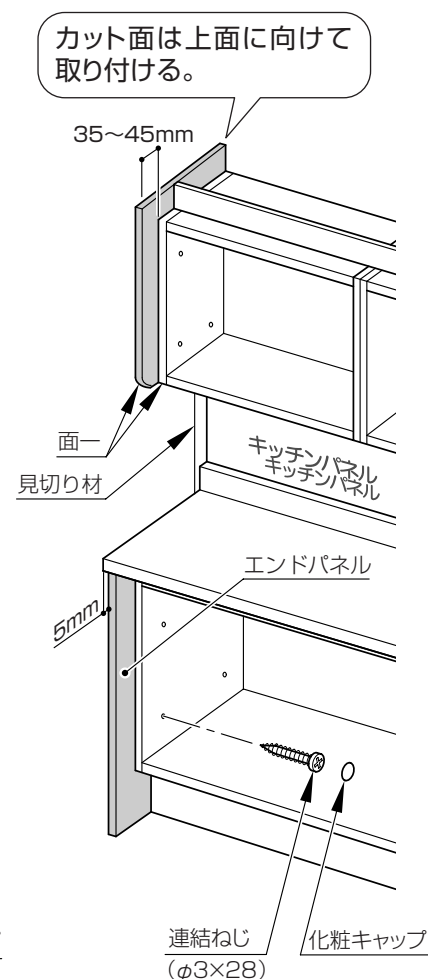
〈トールタイプの場合〉



〈セパレートタイプの場合〉

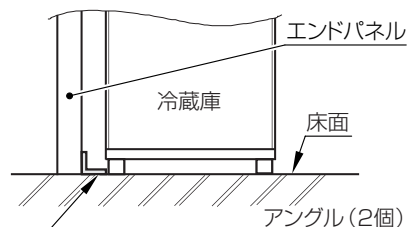


〈セパレートタイプ (インセット)の場合〉



キッチンパネルと見切り材の取り合いはキッチン
パネル用接着キットに付属の組立・設置説明書に
従って取り付けてください。

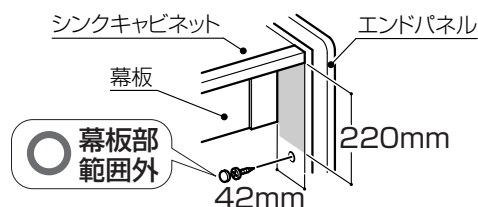
冷蔵庫の横にエンドパネルを設置する場合、パネ
ル下部を付属のアンクル(2個)にて固定してくだ
さい。



※床暖房設備がある場合または、床が
RCの場合は、木片を接着剤で床に
固定してそれにアンクルを取り付け
てください。

シンクキャビネットとエンドパネルの連結

シンクキャビネットにアルカリスリムビルトインを設置する
場合、幕板付近(■部)だけはシンクキャビネット側から
連結しないでください。取り付けできなくなります。
連結する場合は■部範囲以外の場所で固定してください。



10 扉と引き出しの取り付けと調整

⚠ 警告



取り外した扉および引き出しを取り付けたら、傾き・がたつき・丁番のゆるみがないことを必ず確認する

扉の取り付けに異常があると、使用中に落下してけがをするおそれがあります。

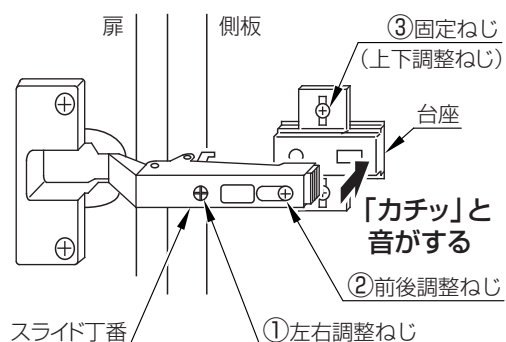
⚠ 注意



扉と引き出しの調整は電動工具を使用しないで、ハンドドライバーを使用して必ず手回しで行う
破損の原因となり、使用中に落下してけがをするおそれがあります。

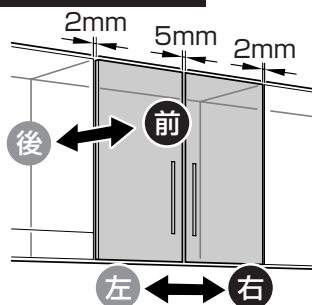
1. 扉の取り付けと調整

丁番を台座に合わせて押し付けてください。



※ねじを締めすぎないようにしてください。
丁番の破損の原因となります。

前後左右の調整



〈左右〉

①の調整ねじを回して調整してください。

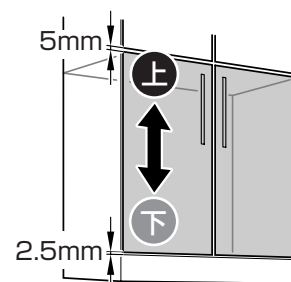
〈前後〉

②の調整ねじを回して調整してください。

上下の調整

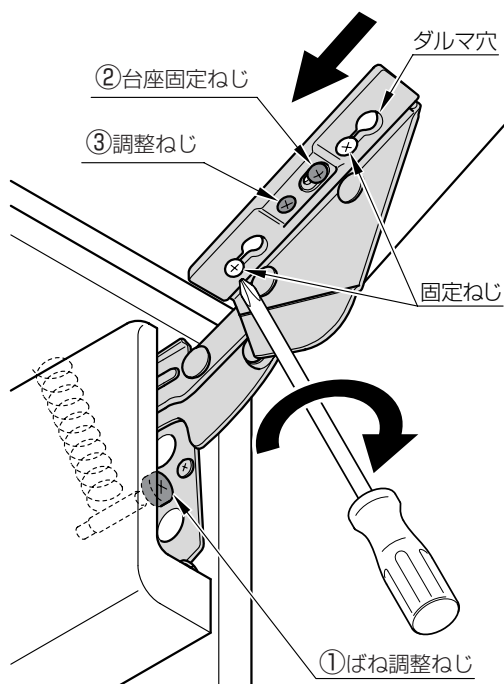
〈上下〉

③の固定ねじをゆるめる。両手で支えながら調整し、調整後はねじを締めてください。



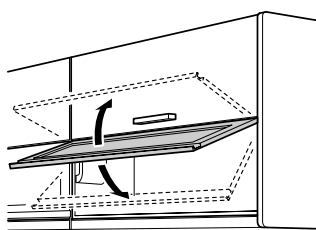
2. スタイリッシュウォールの取り付けと調整

扉の固定ねじをダルマ穴から通し、下方向へスライドさせ固定する。



ばねの調整

※必ず手を離れた所で止まるようにしてください。



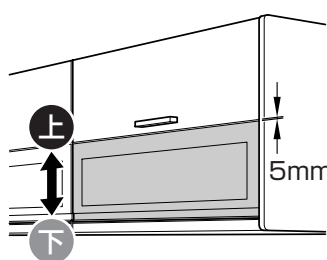
〈扉が下がる時〉

①の調整ねじを右に回して調整してください。

〈扉が上がる時〉

①の調整ねじを左に回して調整してください。

扉の調整



〈上下〉

②の台座固定ねじをゆるめ、扉と扉のチリが5mmになるように③の調整ねじで調整してください。
②の台座固定ねじを締めてください。

3.引き出し前板の調整

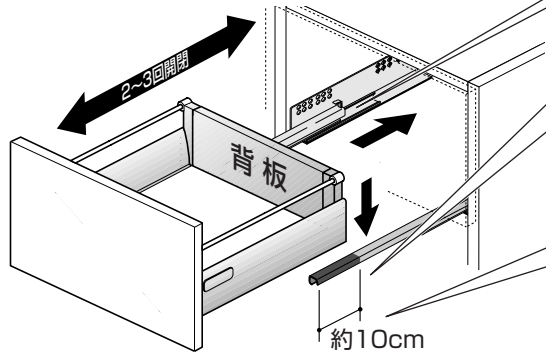
⚠ 注意



取付後は必ず引き出しを2〜3回最後まで押し込み、引き出しを引き出した状態で扉を下に押ししても引き出しの背板が持ち上がらないことを確認する

正確に取り付けられていないと、使用中に引き出しが外れてけがをするおそれがあります。

【引き出しの取付方法】



① キャビネットのレールを完全に引き出した状態にする。

② レールの先端から約10cmの所に引き出しを重ね合わせる。

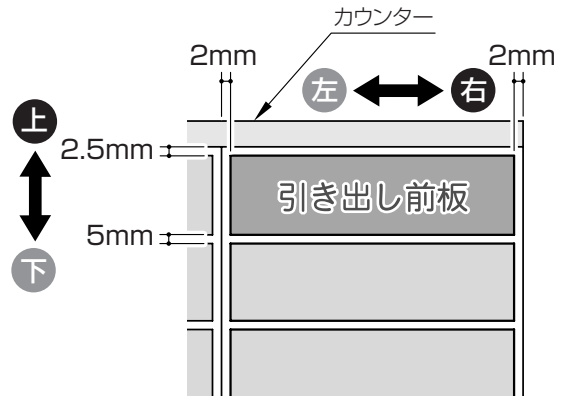
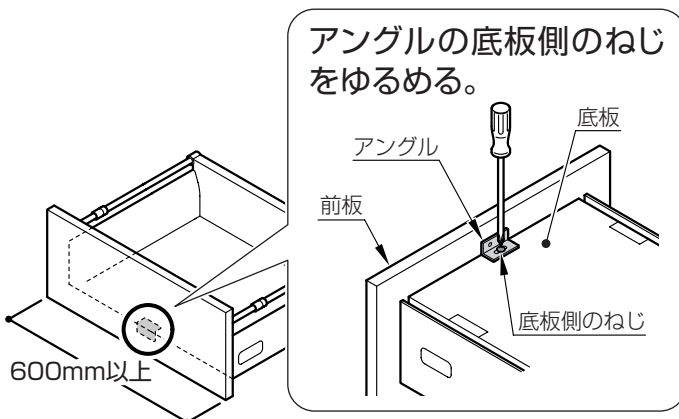
③ そのまま奥まで「カチカチッ」と2回音がするまで押し込む。

※ 引き出しがレールに固定されているか、必ず確認してください。

【上下左右調整】

※ 引き出しサイドパネルが付いている場合は先に取り外してください。(P.30参照)

間口600以上の場合は引き出し底板の裏面にアングルがついています。



調整後は必ず、ねじを締め付けてください。

引き出しの扉と底板の間にすき間が発生、また底板のたわみの原因となります。

〈すき間適正值〉

左右のすき間 : 2mm

扉と扉のすき間 : 5mm

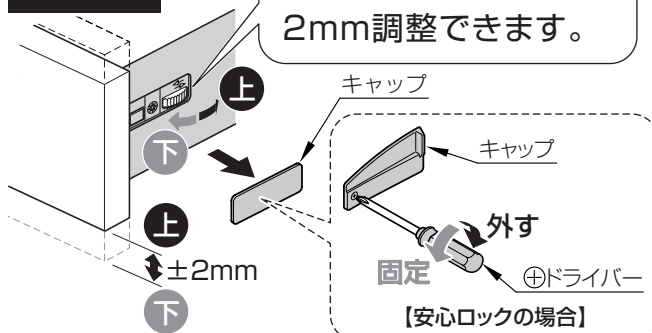
扉とカウンターのすき間 : 2.5mm

引き出し側面のキャップを外して、調整してください。

前板の調整終了後は必ずキャップを戻してください。

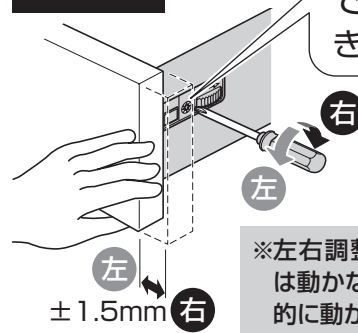
上下調整

両端のダイヤルで±2mm調整できます。



左右調整

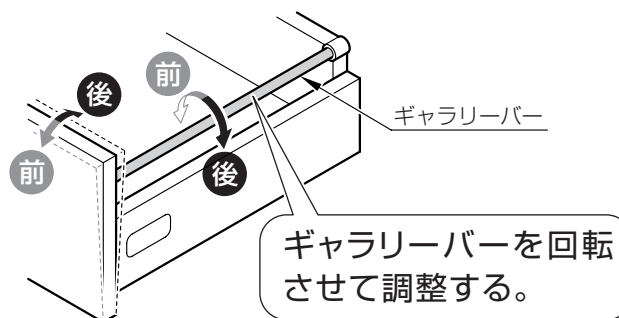
引き出し右側のねじで±1.5mm調整できます。



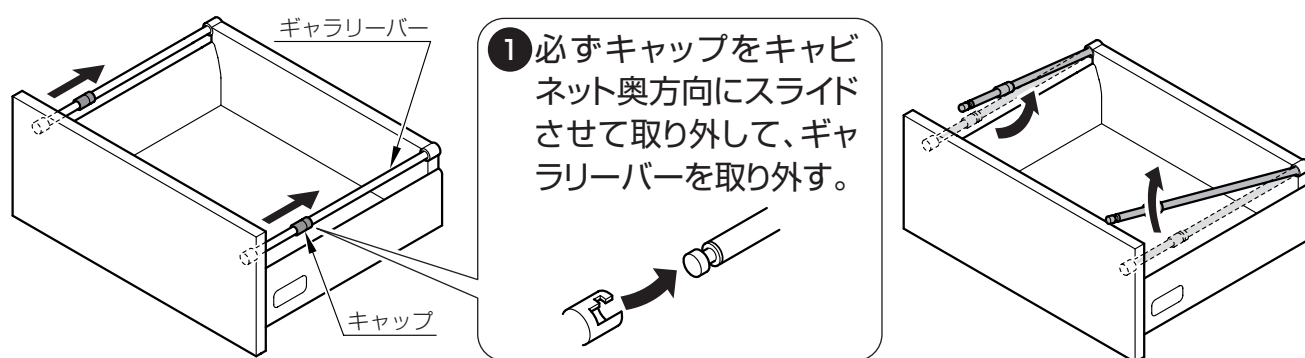
※ 左右調整はねじを回しただけでは動かないので、前板を手で補助的に動かしてください。

3.引き出し前板の調整(続き)

【前板の角度調整】



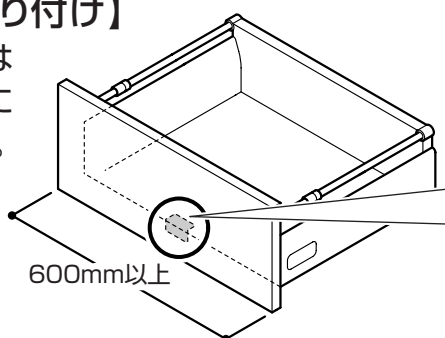
【ギャラリーバーの取り外し・取り付け】



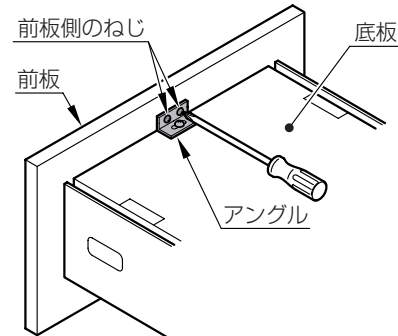
※取り付けは逆の手順で行ってください。

【前板の取り外し・取り付け】

間口600以上の場合は引き出し底板の裏面にアングルがついています。



アングルの前板側のねじを外す。

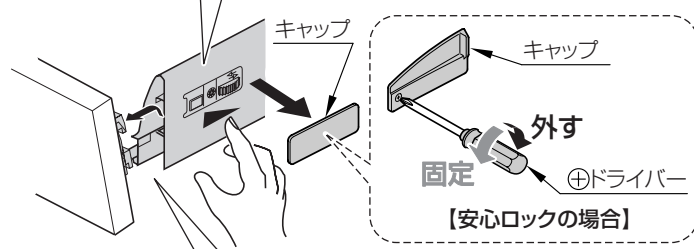


調整後は必ず、ねじを取り付けてください。
引き出しの扉と底板の間にすき間が発生、また底板のたわみの原因となります。

引き出し側面のキャップを外して、調整してください。

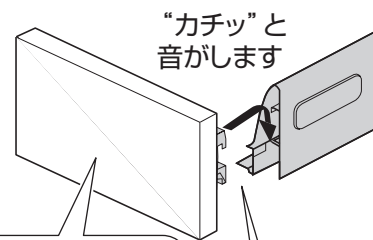
取り外し

1 引き出し側面のキャップを外す。



2 両端の青いボタンを押しながら持ち上げると外れます。

取り付け



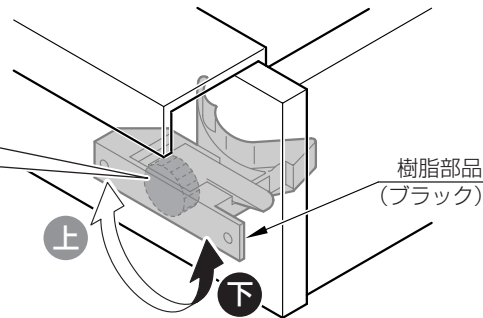
1 取り付けは前板を前面からはめ込む。

2 押しつけながら下に移動させて固定する。

3.引き出し前板の調整 (続き)

【内引き出し上下調整】

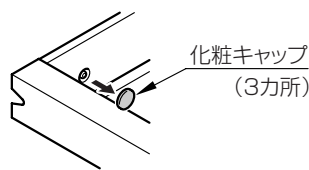
内引き出し底板についている樹脂部品(ブラック)のダイヤルを回して調整する。
上下は±2mm調整できます。



【アルミ製薄型引き出し前板の調整】

上下調整

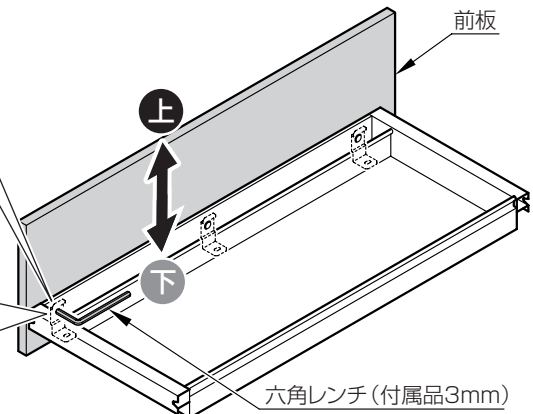
- ①化粧キャップを取り外す。



- ②固定ボルトを六角レンチで半回転程度ゆるめる。
(3カ所) 前板を上下にスライドさせて調整する。
調整代(上:2mm、下:2mm)

調整後は必ず固定ボルトを締め付けてねじのゆるみがないか確認してください。

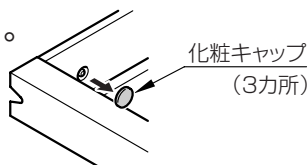
扉のがたつきや扉が外れて落下するおそれがあります。



- ③調整が終わったら固定ボルトを締め込み、前板を固定する。

左右調整

- ①化粧キャップを取り外す。

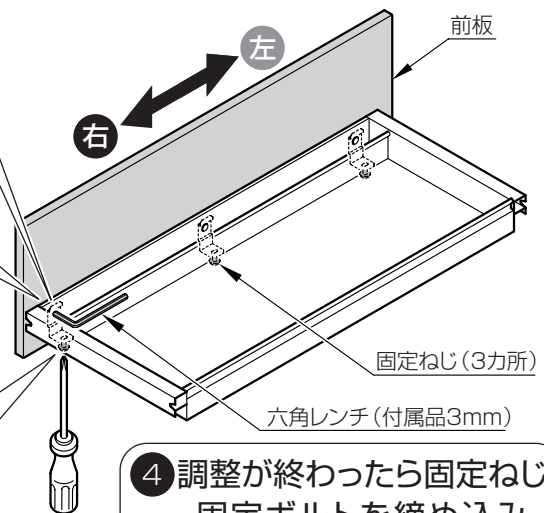


- ②固定ボルトを六角レンチで半回転ゆるめる。
(3カ所)

- ③底面にある固定ねじを⊕ドライバーで1回転程度ゆるめ、前板を左右にスライドさせて調整する。
左右調整代(右:2.5mm、左:2.5mm)

調整後は必ず固定ねじ・固定ボルトを締め付けてねじ・ボルトのゆるみがないか確認してください。

扉のがたつきや扉が外れて落下するおそれがあります。



- ④調整が終わったら固定ねじ・固定ボルトを締め込み、前板を固定する。

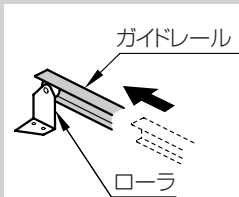
3.引き出し前板の調整(続き)

【コンロ横小引き出しの取付方法】

- ① キャビネットのレールを完全に引き出し、レールの中央あたりに引き出しの左側を乗せる。

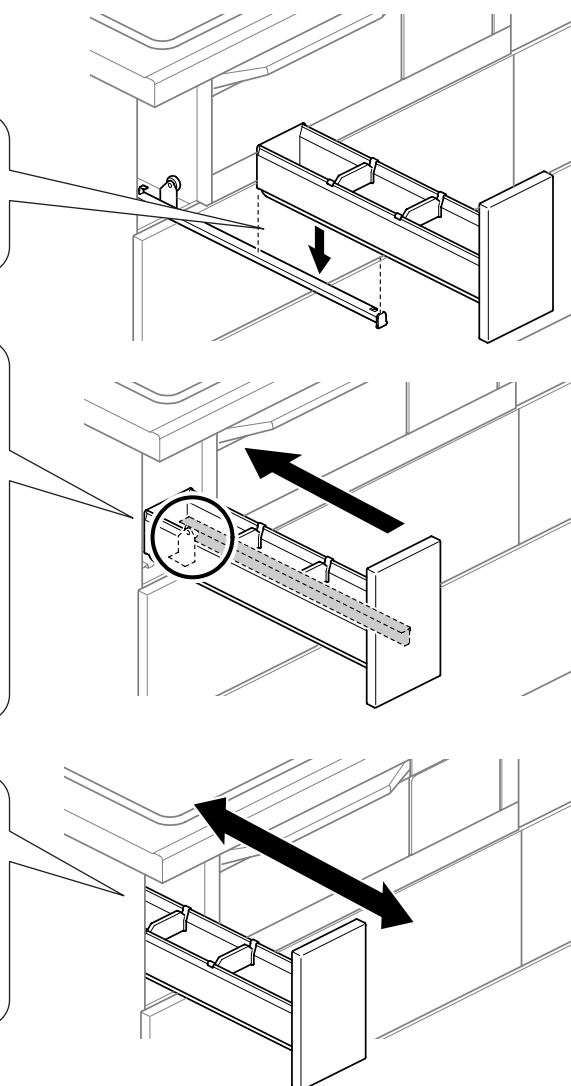
- ② そのまま奥へ「カチカチッ」と2回音がするまで押し込む。

※キャビネットに取り付けられているローラーが引き出しの右底板についているガイドレール(コの字)の中を通るように押し込んでください。



- ③ 取り付けたあとは、必ず2～3回開閉して、確実に取り付けられていることを確認する。

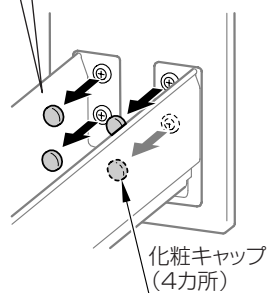
ポイント!
スムーズに動くか、ぐらつきはないか確認してください。



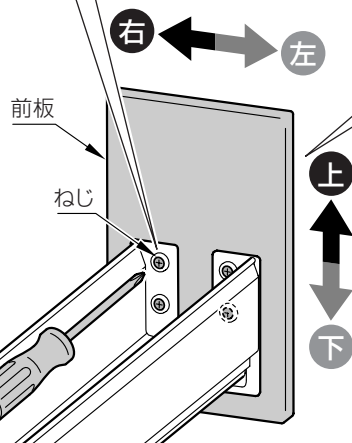
【上下左右調整】

引き出し内面のキャップを外して、調整してください。

- ① 化粧キャップを取り外す。(4カ所)



- ② ドライバーでねじをゆるめる。(4カ所)

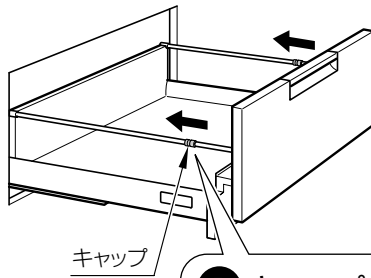


- ③ 前板を上下左右にスライドさせて調節する。
調整代
(右:0.5mm、左:0.5mm)
(上: 1 mm、下: 1 mm)

- ④ 調整が終わったらねじを締め込み、前板を固定する。

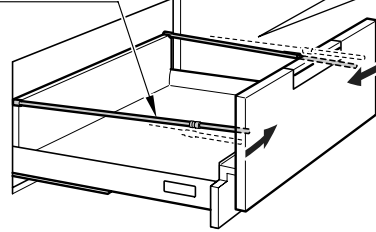
4. サイドパネルの取り付け ※「3. 引き出し前板の調整」が完了後に取り付けてください。

取り外しは逆の手順で行ってください。

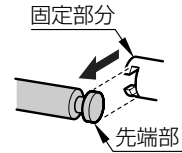


① キャップをスライドさせる。

ギャラリバー



② ギャラリーバーの先端部を扉から外す。

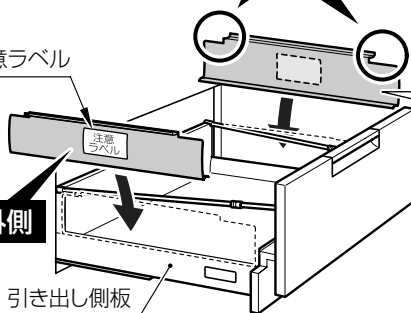


切り欠きがあるほうが上

注意ラベル

注意ラベルが外側

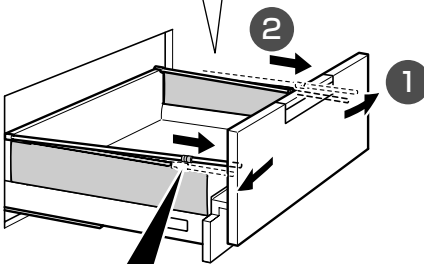
引き出し側板



③ 引き出しサイドパネルを引き出し側板の上に乗せる。

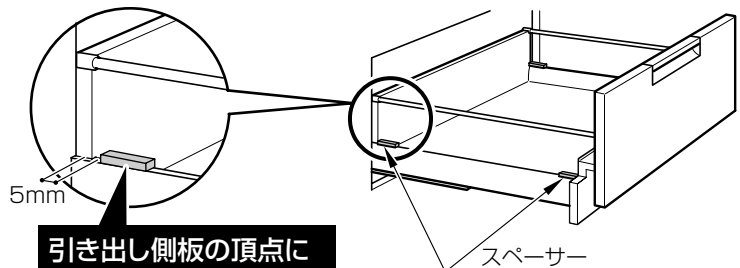
※取り付ける向きにご注意ください。

④ ギャラリーバーを引き出し、サイドパネル上面の溝に乗せ、先端部を扉に取り付ける。

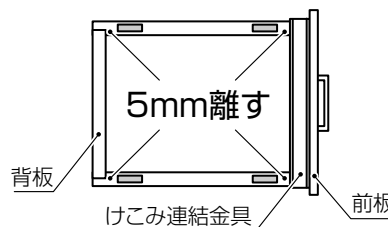


先端部を固定後、キャップを元に戻す。

引き出しサイドパネル取り付け後、ガタツキがある場合は・・・
付属のスペーサーを内レールの頂上(両端)に貼り付けてください。



引き出し側板の頂点に
スペーサーを設置する。



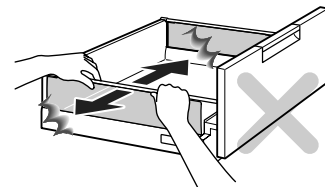
※前板(けこみ連結金具)
・背板から5mm離して
設置してください。

⚠ 注意

引き出しサイドパネルを無理に押し込んで取り付けしない



無理に押し込むと指を挟んだり、破損してけがをするおそれがあります。
引き出しサイドパネルの取り付け・取り外しはギャラリバーを外して行ってください。絶対に押し込まないでください。



11 調理機器の取り付け

⚠ 注意

- ❗ 機器に付属の組立・設置説明書および本体の注意表示を必ず確認し、正しい取り付けを行う
取付方法を誤ると、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。

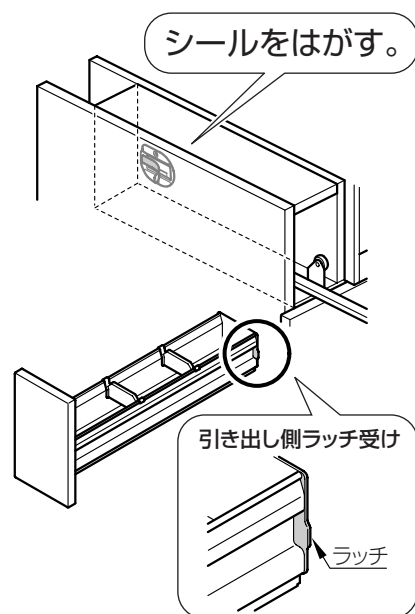
12 安心ロック（引き出し用）の注意点

⚠ 注意

- ❗ 安心ロック付きキャビネットを取り付けの際は、ラッチ受け本体に貼り付けてあるシールを必ずはがす
はがし忘れると、地震の際、ロックがかからず、思わぬ事故となるおそれがあります。

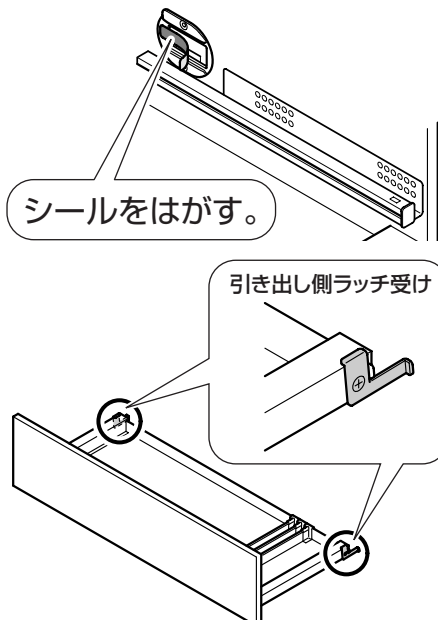
【コンロ横小引き出し】

ラッチ本体は右のレールの上側に1カ所だけあります。



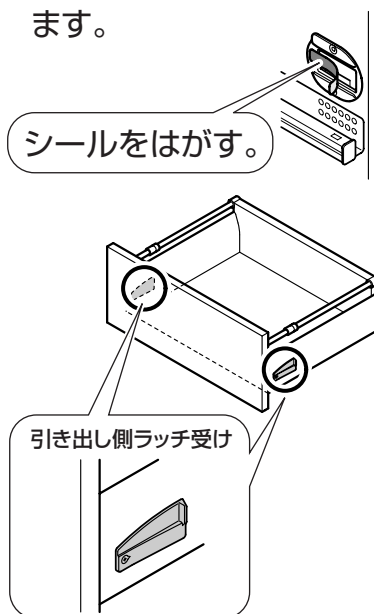
【アルミ製薄型引き出し】

ラッチ本体は左右のレールの奥側に各1カ所あります。



【引き出し】

ラッチ本体は左右のレールの上側に各1カ所あります。



13 水栓の取り付け

⚠ 注意

- ❗ 水栓に付属の組立・設置説明書および本体の注意表示を必ず確認し、正しい取り付けを行う
取付方法を誤ると、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。

14 照明の取り付け

⚠ 注意

- ❗ 照明に付属の組立・設置説明書および本体の注意表示を必ず確認し、正しい取り付けを行う
取付方法を誤ると、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。

15 周辺商品の取り付け

⚠ 注意



おのこのユニットに付属の組立・設置説明書および本体の注意表示を必ず確認し、正しい取り付けを行う
取付方法を誤ると、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。

16 オプションの取り付け

⚠ 注意



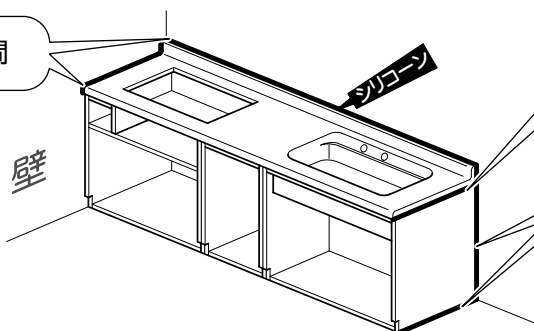
オプションに付属の組立・設置説明書および本体の注意表示を必ず確認し、正しい取り付けを行う
取付方法を誤ると、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。

17 コーキング処理

- カウンターおよびキャビネットなどとキッチンパネル、壁面、エンドパネル、床面などのすき間をシリコンシーล剤でシーลしてください。

※ 壁面がキッチン取付後仕上げの場合は、材工建築工事となります。

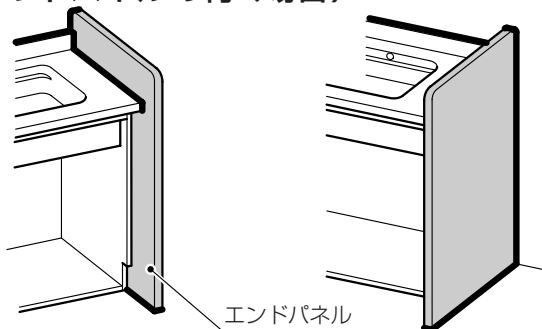
カウンターと壁のすき間



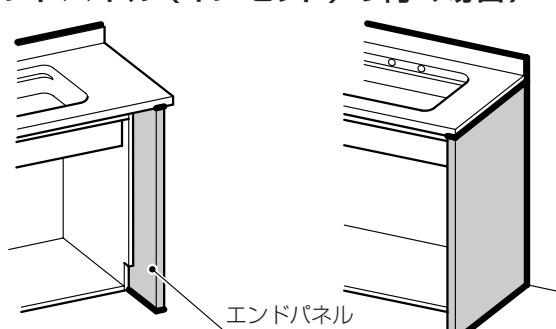
キャビネットとカウンターのすき間

キャビネットと床・壁のすき間

〈エンドパネルの付く場合〉



〈エンドパネル（インセット）の付く場合〉



⚠ 注意

上記で指定した箇所は必ずシリコンシーล剤でシーลする

シーลが不完全な場合、水こぼれによりキッチン部材・床・壁の損傷や劣化の原因になります。



取り付け・仕上げに使われる、溶剤・接着剤・洗剤・その他薬品類については、容器などに記載の注意表示に従って、正しく使う

誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、キッチン部材・床・壁の損傷や劣化の原因になります。

18 清掃・検査・養生

【清掃】

キッチン取付完了後、清掃を行ってください。

【検査】

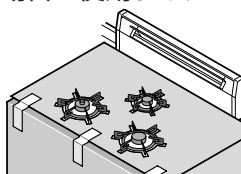
外観・機能・傷などのチェックを行い、シンクキャビネット付属の「組立・設置完了報告書」と「メンテナンスラベル」に組立・設置業者名を記入してください。

【養生（下記養生ポイント参照）】

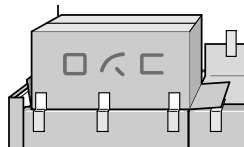
- キッチン取付後の設備、建築工事などで汚されたり・傷つけられたりしないように厳重に養生しておいてください。
- カウンター・シンク面の養生は特に厳重に行ってください。
- 養生材は、包装に使ったダンボールを使うか、現場手配のエアシートなどを使うなどして保護してください。
- 後仕事（配管工事など）をする方のために組立・設置説明書を養生の上からマスキングテープで貼っておいてください。

養生ポイント キッチン取付完了後はクリーニングをしたあと、下記要領にて養生をしてください。

梱包内に養生専用ダンボールがある場合は使用する。



養生専用ダンボールがない調理機器は、包装ダンボールを逆さに使用する。

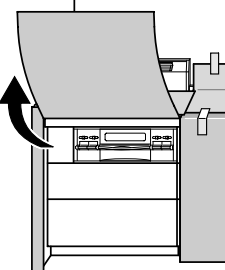


フロアキャビネットは、ダンボールで養生する。

※後工程工事作業時にめくりやすいようにキャビネットサイズ毎に分割してください。

ポイント!

工事内容を書いておく
後工程業者様がわかりやすくなります。



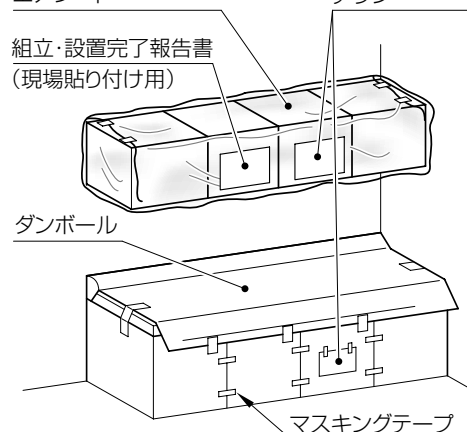
ビニールシートまたは
エアシート

組立・設置完了
チラシ

組立・設置完了報告書
(現場貼り付け用)

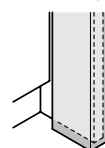
ダンボール

マスキングテープ



ウォールキャビネットおよびフードはビニールまたはエアシートで養生する。

エンドパネルは木口面周辺をダンボールで養生する。

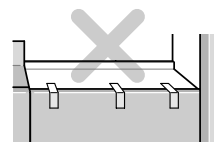


カウンター上面はダンボールで養生する。

【注意】

カウンター上面や扉に直接養生テープを貼らないでください。

※糊残りや汚れの原因となります。



必ず検査を実施してください。

「組立・設置完了報告書」の現場貼り付け用紙（4枚目）を養生の上から貼ってください。

組立・設置業者様控え用紙（2枚目）は持ち帰り保管してください。発注元提出用紙（3枚目）は発注元へ提出してください。

組立・設置業者様へ

各種取扱説明書は必ずシンクキャビネット内にまとめてお引き渡しください。